

ハイアガール

村上慎太郎

【登場人物】

藪下実可子（高校生）

坂上りん（高校生・実可子の友達）

大江戸昇（朝日湯の経営者・実可子の親戚）

岩村満男（朝日湯のバイト）

若槻めぐみ（田舎のヤンキー）

魚住たかし（めぐみの彼氏）

水野ヒカリ（病院から逃げ出し煙突を閉じたい女）

水野雄一（映画監督志望・ヒカリの弟）

山添幸子（坂上りんのバイト先の女・口のメカニズムが悪い）

□舞台設定

舞台中央に煙突がそびえ立っている。

入場してくる観客には、それが薄明かりの中うつすらと見える。

煙突には、登るための梯子がついている。

煙突の先からは煙が吹き出し、舞台宙にその煙が漂っている。

舞台上には、その煙突から円を描くように、

大小様々な台が点在して設置されている。

それは煙突を中心とした郊外の街並みにもみえる。

その点在する台の上や下を使ってシーンを分けて展開していく。

開演。

□プロローグ／#1 とある地方の高校（夕方前）

秋ごろ。京都の郊外の山裾に立ち並ぶ住宅街。

その中にある高校の校舎の裏。時刻は、放課後あたり。

そこへ、制服姿の藪下実可子（以下、実可子）が

空を見上げ独楽こまの様にグルグルと回転しながら現れる。

回転の勢いはどんどん加速していく。更にグルグルと回る。

しばらく回っていたが、次第に目が回ってきて、ついに地面に転倒してしまう。

実可子 （目が回りつつ） ああー。揺れてるー。揺れてるー。地面がー。あー。

同級生の坂下りんが実可子を見つけ現れる。

転倒して悶もえている実可子に、

りん 実可子。またそれしてんのー？

実可子 （目が回りながら） りんちゃんー、気持ちいいー。

りん もうええって、それ。

実可子 うち、もつとアホになりたいー。

りん 充分アホやんか。

実可子 ……うー。

りん ……今回はなに？ フラれたやつ？

実可子 うー(否定)。

りん スカートのめくれてたやつ？

実可子 うー(否定)。

りん 名前書き忘れたやつ？

実可子 うー！(正解！)

りん ああ。まあ、受験の時名前書き忘れんかったら大丈夫やつて。

実可子 うー。

りん 行こうや。

実可子 ・・・・んー。

りん 行くで。

実可子 ・・・・死んでる。

りん は？

実可子 うち今、脳細胞が死んでいつてる。

りん そ。

実可子 ・・・・なあ。

りん ん？

実可子 りんちゃんも回ってよ。

りん え？ うちも回んの？

実可子 うん。

りん えー・・・。

と言いつつ、りんも独楽のように回転する。

が、すぐに足元がふらつき倒れ込んで、

りん 寝不足やし、スグ目まわちやうわ。

実可子 かわいいな。

りん ハア？ 目わるいんちやう？

実可子 うちも、りんちゃんに生まれたかったー。

りん 実可子の人生の方が楽しいよ。絶対。

実可子 え、じゃあうちの人生に生まれたかった？

りん (否定の意で)んー・・・。

実可子 ほらー。

りん ええから、行こうよ。

実可子 ・・・・(気持ち悪くて)あかん無理。もう少しこの風に当たっていたい。

りん ・・・・日暮れてまうし、行こうよー。

実可子 ……どこに？

りん ラインしたやん。

実可子 煙突？

りん あかん？

実可子 楽しい？

りん 楽しいない？（楽しくないの？の意）

実可子 （少し悩んで）うち今日はやめとく。

りん え、なんで？

実可子 気持ち悪いし。

りん 大丈夫やってー。登りに行こうよ。

実可子 いいよ。いい、いい。見飽きた。景色。

りん え、じゃあ、一人で登るで。

実可子 どうぞ。

りん えー。今日、おっちゃんって裏おる？

実可子 おらんおらん。基本、番台やし。

りん 行こうよー。

実可子 なんでそんな登りたいん？

りん え。気晴らし。

実可子 そ。

りん せやし、ほら。行こうや。

少しの間。

りん ……うち、行くで。

実可子 うん。

りん うち、ほんまに行くで？

実可子 うん。

りん ほんまやで。

実可子 うん。

りん ……。

りんは、踵を返し去ろうとする。

が、実可子はそれを止めるように、

実可子 せや。一応。アレや。おっちゃんに言われとったわ。煙突登ったあかんて。

りん え。それ今いう？

実可子 まあ大丈夫大丈夫。岩村さんに見つからなかったら。

りん ああ。あの人誰なん？

実可子 なんか弟子なりたいてって人。よーわからん。やる気ないし。

りん 突然、銭湯おったから、びっくりした。

実可子 うちの銭湯めずらしいから。

りん そんな人おるんやな。

実可子 最初だけや、やる気あんの。見つからんように気をつけや。

りん うん……ア。

りんは制服のポケットから手紙を出して、

りん これ、手紙。

実可子 ん？

りん シリーズ。例の。

実可子 ああ。

りん 今日は「実可子が私を超えられない10のこと」書いた。

実可子 なにそれ。

りん あといろいろ書いたから読んで。

実可子 ……。

そういうと、りんは、いなくなる。

実可子 ……(酔いが戻って来て突っ伏したまま) うー。

実可子は、地面に倒れたまま、次の場へと転換する。

□プロローグ／#2 若槻めぐみと魚住たかしの目撃(夕方前)

若槻めぐみ(以下、めぐみ)がハンドルを握る車。

助手席に魚住たかし(以下、魚住)。走行中である。その車内の会話。

めぐみ ……ああ。しんど。

魚住 ……。

めぐみ しんど。

魚住 しんどいいうたらしんどなるぞ。

めぐみ は？

魚住 口に出したら、体がそうなんねんで。

めぐみ しんどいから、しんどいゆうてるんやん。

魚住 こっちまでしんどなってるわ。

めぐみ ……今、しんどきの極致やわ。

魚住 ……は。

めぐみ 死ぬ。

めぐみ、突然ハンドルを左右に切る。車内が左右に揺れる。

魚住 アホ！お前やめろ！おい！おい！

魚住は、めぐみが乱暴に切っているハンドルを抑える。

魚住 ……安全運転せえや。

めぐみ お前にうちの死体みしたるわ。っていう思考回路辿るくらい、しんどきの極致におるわ。

魚住 なんやねん、しんどきの極致って。

めぐみ あーほー。

魚住 頭おかしいんちゃうんけ。

めぐみ 誰のせいやねん。

魚住 お前やろ。

めぐみ お前ゆうな。

魚住 お前はお前やろ。

めぐみ お前っていうなつて。マジで事故ったるか。

魚住 香水やったやろ。

めぐみ くっさい香水やろ。

魚住 お前が欲しいゆうてたんちゃうんか。

めぐみ もうほんま最悪、地獄、死ぬ。

魚住 うるさいうるさい。

めぐみ ……。

めぐみはブレーキを踏む。

急停車する車。

そして、めぐみは泣き出す。

魚住　　なんやねん。

めぐみ　　(泣いている)

後続車にクラクションを鳴らされる。

魚住　　ちょ、うしろ来てるから、

めぐみ　　(泣いている)

魚住　　はよ、出して。

後続車、クラクションを何度も鳴らす。

魚住、車を降りて後続車の方へ、

魚住　　(威勢よく) やかましいわ！聞こえとんのじゃボケ！

後続車のクラクション鳴りやむ。

魚住、車内に戻ってくる。

魚住　　マジで、マジでマジでマジで、はよ運転して。

めぐみ　　・・・あんたが運転したらええやん。

魚住　　は？免許もってへんし。

めぐみ　　はよ、取れや。いつまで教習所、通つとんねん。

魚住　　は？　教習所は卒業してるし。あと筆記だけやし。2点足りんかっただけやし。

めぐみ　　・・・中卒。

魚住　　は？俺が中卒なんは、関係ないわ。

めぐみ　　免許とれへんのも浮気すんのも、中卒のせいやろ？

魚住　　・・・

めぐみ　　(また泣きだす)

魚住　　なんでやねん。

めぐみ　　(泣いている)

魚住　　もう、ごめんて。運転して、おねがい、頼むから運転して。な。

めぐみ　　・・・

泣いているめぐみ。

魚住が呼びかけるも、相手にしてもらえない。

しばし魚住も沈黙してしまう。

この間、後続車は、どんとこの車を追い越していく様子。

魚住は、ため息をつき、ふと窓の外に目を見やる。

と、煙突の梯子を使い、煙突の上へと登っている人影がある。

魚住

アレ？なんか登つとんぞ。・・・なあ、なんか登つとんぞ。あれ、ほら。なあ。見て！

ちよ、頼むし。ほらアレなんか変じゃない？

めぐみも顔をあげ、窓の外に目をみやる。

めぐみ

・・・今関係ないし。

めぐみは、また顔をうつむける。魚住は、目を凝らして煙突の方向を見ている。

□プロローグ／#3 幸子、通報（夕方前）

山添幸子（以下、幸子）が現れる。

幸子の滑舌は悪く、ギリギリ言葉が聞こえるくらいである。

幸子は、語り出す。

幸子

（滑舌悪く）うちは、滑舌が超絶、悪い、らしい。らしいというか、めちゃくちゃ悪い。正直、会話とかが不便。滑舌悪いけど、喋りたい。喋らして。一人で喋らんと口を噤んでるって、辛いでー。うちは、ずーっとグレー。障害ではない。病院で何回か見てもらってんだけど、ただ“口のメカニズム”が悪いだけ。正直、手術したい。できたらいいなあと思う。だって、この時も、

煙突近くの見通しの良い場所。

煙突の梯子を上に登っている人影を見つけ、焦る幸子。

幸子は、急いで携帯電話を取り出し、119番に通報する。

幸子

（滑舌悪く）もしもし。はい。救急です。あの、朝日湯の煙突に、人が登ってて、・・・じゃなくて、朝日湯。えっと（丁寧に）ア・サ・ヒ・ユ。ミルフィーユじゃなくて、朝日湯。銭湯。銭湯の煙突。銭湯。銭湯・・・ジェントルじゃなくて、銭湯。すみ

ません、私滑舌が悪くて。口のメカニズムが悪いです。ほんとごめんなさい。全然、治してくれるイイ病院なくて。うちの話はええんですよ！……えっと、メールとかってあります？ あの、電話じゃアレなんで、メールかファックスだとありがたいんですが……あ、あ、わかりました。あの、掛け直します。

電話を切り、心配そうに煙突を見上げる幸子。

□プロローグ／#4 逃げるヒカリ、追う雄一（夕方前）

場所は、煙突のすぐ近く。

パジャマ姿でマスクをした水野ヒカリ（以下、ヒカリ）、走ってくる。

煙突の上の人影に気づく。

ヒカリを追いかけて走り込んでくる弟の水野雄一（以下、雄一）。

ヒカリ おお。雄一。

雄一 戻る。

ヒカリ （煙突を見上げ）あれ。なんや。

雄一 逃げるなよ（ヒカリを抱え上げ）戻る。

ヒカリ （抱え上げられ）ちやう。雄一、煙突。雄一、煙突。

雄一 今日は、なんも出てない。

ヒカリ 見てみい、あれ。あれは、幻覚か？

雄一 え？（煙突の上を見上げ）ちやうな。……誰か、登つとな。

ヒカリと雄一は煙突を見上げる。

□プロローグ／#5 実可子、帰宅

夕暮れ頃。

煙突の上にいる、りん。

それぞれの人物が見ていた人影は、りんだった。

背中越しで表情を伺うことはできない。

伸びをするりん。

風が心地いいのか、息を大きく吸ったり吐いたりしている。

町を一望している様。

そして、煙突の上から見えた景色を写真に収めようとしたのか、ポケットの携帯電話を探った。

と、突然、りんが、煙突の上から姿を消す。

一瞬の間。

地面に叩きつけられる肉体の大きな音が響く。

一瞬にして、煙突を見上げていた人たちは、闇に包まれる。

舞台上に目が回って倒れている実可子の姿だけが浮かび上がる。

実可子がよろよろと立ち上がり、語りかける。

実可子

・・・家に帰ると銭湯の周りが、人でごったがえしていた。嫌な予感がした。人混みをかき分け前に進む。

人混みをかき分け、煙突のそばの空き地へ。

実可子

空き地がブルーシートで覆われていた・・・・・・・・。目の前が夕焼けに眩んでいく。

溶暗していく。

実可子

うちもこの町とともに、闇の底へと・・・・・・・・引きずり落とされていった。

完全な闇。

音楽。

ノイズが舞台上に走り、その中を頭を抱え悶える実可子。

そして、そこに浮かび上がる映像タイトル「ハイアガール」

□一場／#1 朝日湯（夜）

それから数日後。

ここは、朝日湯。時刻は夜ごろである。

舞台奥側に男湯と女の湯への入り口が見える待合室。

上手側には勝手口があり、舞台手前側には、銭湯の入り口がある。

大江戸昇が、番台に座って新聞を読んでいる。

番台の奥には、冷蔵庫があるが客席からは見えない。

頭からタオルを被った魚住が、男湯から出てくる。

魚住は番台に小銭を置く。

大江戸は、小銭を受け取り冷蔵庫から牛乳を取り出し、渡す。

魚住はそれを受け取り、椅子に腰掛け牛乳を飲み始める。

魚住の両腕からは、刺青が見えている。

そこへ、ヒカリが銭湯へ入ってくる。

入ってきて早々、魚住に話しかける。

ヒカリ 暑いな。

魚住 は。

ヒカリ 寒いか。刺青かつこいいな。

魚住 なんやねん。

ヒカリ ・ ・ ・ 刺青かつこいいな。男に生まれてたら、刺青やりたいわ。

魚住 なに？

ヒカリ ・ ・ ・ ・ ・ 刺青みして。

魚住 ・ ・ ・ ・ ・

ヒカリ ちよ、腕まくって。(魚住のシャツを捲ろうとする)

魚住 あ？

大江戸 おいおいおい、やめとけやめとけ。

魚住 (舌打ち)

大江戸 ・ ・ ・ (ヒカリに) 帰り。

ヒカリ (大江戸に) 牛乳。

大江戸 ここは銭湯や。

ヒカリ お金払うし。

大江戸 風呂入る人だけが飲む権利あるねん。だから、あかん。

ヒカリ ケチやなあ。(座る)

大江戸 座るな。

ヒカリ (座る) 刺青はオツケーなん？

大江戸 ええから、帰り、な。

ヒカリ …… 大人一枚。

大江戸 …… 400円。

魚住 (ヒカリに) なんやねん、お前。

ヒカリ かつこええな、思て、それ。

大江戸 ええから、400円。

魚住 おちよくつてんのけ？

ヒカリ ううん。かつこええな、思てゆうてるんやんか。

大江戸 風呂入るんか。

ヒカリ 入りに来たんや。なんのために銭湯建つとねん。煙突からこの街に灰を撒き散らす

ために、建つとんか！

大江戸 ……

ヒカリ 灰が混じつとる。健康被害を訴えとる。

大江戸 大丈夫や。

ヒカリ 閉じろー、と、じ、ろ、と、じ、ろ、

大江戸 とりあえず400円や。

ヒカリ 400円？ …… (財布からお金を出す)

大江戸 バスタオルは。

ヒカリ バスタオルいる。なんも持ってないから。

魚住 待てや。お前、なんやねん。

大江戸 ええから、ええから。

ヒカリ 入りますー。

ヒカリは逃げるように女湯へ。

魚住 …… アイツなんなん。

大江戸 ちよつと頭が、アレなんや。煙突から灰が出てるとか、ずっと文句をな、言いに来

とんねん。頭がおかしいんや。

魚住 嫌いやわあ。

と、銭湯へ雄一が駆け込んでくる。

大江戸 あ、

雄一 姉ちゃん来てませんか？

大江戸 ああ、今、来たよ、

雄一 どこですか？

大江戸 風呂。

雄一 ああ、こつちですか？（女湯に入ろうとする）

大江戸 あかんあかん。

雄一 え。姉なんで。

大江戸 一応、女湯やから。

雄一 僕の姉です。（入ろうとする）

大江戸 あかん。っていう仕事やから俺。

雄一 じゃあ、おじさん行ってきてくださいよ。

大江戸 捕まる捕まる。

雄一 （女湯に叫んで）もう、姉ちゃん！ 姉ちゃん！ 出てこいって！

魚住 うるさい！

雄一 あ、すみません。

魚住 アイツ、お前の姉ちゃんか。

雄一 え、はい。

魚住 話あるし、表でろ。

雄一 ……え。

魚住 ええから、表でろって。

雄一 や、え。

魚住 話あるし、男湯の方でもええわ。

大江戸 あかん、表でやれ。

雄一 （吃りつつ）話あるなら、女湯入ったらええじゃないですか。

魚住 （威嚇して）あ？

雄一 すんません。

魚住 一旦、表出て話しよか、って。ほら。

雄一 お姉ちゃんを迎えに来ただけなんで。お姉ちゃん、ああ見えて、病院逃げ出して。て。

魚住 どつか悪いんか？

雄一 一応。

魚住 どこや。

雄一 いいじゃないですか。

魚住 どこや、つてきいとねん！

大江戸 ここで、やめて、出ていって、（携帯を出して）警察呼ぶよ。

雄一 お、お、ODです。オーバードーズです。

魚住 ……なんやそれ。

雄一 葉飲みすぎたらなるやつです。

大江戸 (ダイヤルをプッシュして) とりあえず、警察呼ぶからね。

魚住は、警察を呼ばれるのは面倒なのか、

大江戸のダイヤルプッシュを牽制しつつ、

魚住 なんの病気がわからんけど、お前の姉ちゃんに、お大事につて言うわけ。

大江戸 (電話して) もしもし・・・、

魚住 ・・・・(大江戸を睨みつける)。

大江戸 (電話に) すみません、朝日湯ですが、タクシー一台お願いします。はい、お願いしますー。(電話を切る)・・・タクシー呼んだから雄一くん、お姉ちゃんと病院に

帰り。

魚住 ・・・・雄一つて、お前、水野け？

雄一 はい。

魚住は雄一を強引に表に引つ張り出そうとする。

雄一 やめてください！やめてください！

魚住 話あるし、表でろ。

雄一 ここで、ここでお願いします！ここで！

魚住 ええから出ろつて！

大江戸 やめて、やめて、ここで！

雄一 お姉ちゃんすみません、お姉ちゃんすみません、お姉ちゃんがすみません。謝りますから、僕関係ないじゃないですか！！

魚住 ・・・・坂上の話や。

雄一 ・・・・。

魚住 ・・・・坂上りんの話や。

雄一 ・・・・。

魚住 とりあえず寒いけど、表で話しよ。

雄一 ・・・・なんの話ですか。

魚住 来い。

雄一 え、でもおねえちゃんが・・・、

魚住 (怒声で) 来い！

魚住に威嚇され萎縮する雄一。魚住に引つ張られ、銭湯の表へ出る。

ヒカリ おー怖い怖い。お勝手口、借りまーす。

大江戸 ちよちよちよ。(銭湯の表に向かつて) 雄一君!

ヒカリ 雄一には病院戻ったつていうといて。ア、湯ぬるなつとるで。

大江戸 ほんまに戻るんか。

ヒカリ 戻る戻る。それより、煙突、はよ、閉じろよ。変な灰が、アがつとるから、この街がおかしくなつてもうてる。な。とりあえず行くし、雄一には心配すんなつていうといて。

大江戸 はい、はい。

ヒカリ 灰だけにな。

ヒカリは、勝手口から抜け出していく。

大江戸は、ため息をつく。

少しの間のものち、

戻ってくる雄一。

頬をさすつている。

大江戸 殴られたんか。

雄一 蹴られました。最悪や、最悪や、最悪や。ほんま最悪や!

大江戸 ・・・りんちゃんのために蹴られたんや?

雄一 あああ警察電話しよ。警察。

大江戸 やめとき、やめとき。

雄一 なんですすか?

大江戸 ここ、潰れる。

雄一 ここ、とか関係ないつすよ。

大江戸 ここ、潰れたら、俺、不安、将来。だから、泣き寝入りして、ちよ。．．．．．
さんまさん!さんまさんは、ファンにけられてもナイスキックつて言うらしいよ。

芸人さんはそれを胸に我慢して、芸能界を這い上がつていくらしいよ。

雄一 ・・・。

大江戸 な。

雄一 なんで蹴られなあかんですか? 這い上がる必要もないですし。

大江戸 さあな。あのにいちゃんも家のお風呂に入つたらええのに、わざわざここにきて。な。

雄一 ・・・客減つてるんすか。

大江戸　まあな。もう大迷惑。俺も警察に煙突登れるよにした、あんたが悪いみたいに言われてさ。なーに言っただよって思うよな。(力なく) ハハ。

雄一　あの、女湯入っていいですか。

大江戸　あかんて。

雄一　お姉ちゃんが。

大江戸　ああ。お姉ちゃん帰ったよ。

雄一　え。

大江戸　病院に帰るから、言うと言ってって、言うてたで。

雄一　もう、なにしてんすか！ 姉ちゃん、止めてくださいよ！

大江戸　雄一君、ここ一瞬覗いてみ。

大江戸は、雄一に番台の中を覗かせる。

大江戸　ここに座つたらな、すぐには立ち上がれへんのや。

雄一　口あるでしょう。言葉はなんのためにあるんすか

大江戸　(冗談めかして) 愛を語るためや。

雄一　・・・・・・。(去ろうとする。)

大江戸　そつちちやう、お勝手のほうや。

雄一は勝手口のほうへと消える。

大江戸　・・・・。

しばらくして、家着姿の実可子が銭湯の入り口から入ってくる。

大江戸　実可子、風呂入るか。

実可子　いい。

大江戸　なんでや。

実可子　うるさい。

大江戸　(冷蔵庫を指差し) 牛乳飲むか。グレープフルーツむいたんや、食べ。

実可子　・・・・お金。

大江戸　口を開けば、金金つて。とりあえず風呂入り、スッキリするから。

実可子　しいひんよ。

実可子は、番台の奥の冷蔵庫から、ビールを出す。

大江戸 お前、待て、ビールは未成年やから、あかん。
実可子 ええやろ。

大江戸 せめて、そつちのチュウハイにしとき。な。

実可子 ……。

大江戸 ビールは、あかんけど、チューハイはジュースやから。

実可子は冷蔵庫から缶チューハイを取り出し、栓を開ける。

缶チューハイを飲む実可子。

大江戸 お、未成年。飲んどる。酒を飲んどる。ツイッターにあげたるか。

実可子 うるさい。

実可子は、冷蔵庫から5本ほど缶チューハイを取り出し、持ち去ろうとする。

大江戸 そんな持って行ったらあかん。2本にしてせめて。

実可子 ……。(2本にする。)

大江戸 外で飲むなよ。

実可子 ……。

実可子は銭湯の待合室を出ようとする。

大江戸 裏に、岩村おるから、薪足せってゆうといて。

実可子は、勝手口から出ていく。

しばし間。

大江戸は、再び新聞を開く。

と、朝日湯に電話がかかってくる。

大江戸 もしもし。ア、タクシー着いた……アノ……間違いました。警察とまちがいました。
した。

□一場／#2 煙突の前(夜)

煙突の下。

ヒカリ、煙突に向かつてピョンピョン跳ねている。
が、煙突に掴まろうにも登ろうにも落ちてしまう。

ヒカリ くっそお！ 負けへんぞ！

ヒカリ、何度も飛び上がり登ろうとするもズルズルと落ちてしまう。を繰り返している。
そこへ雄一、やってくる。

雄一 姉ちゃん！ おい姉ちゃん！！

ヒカリ アンタ声でかいわ。頭響くねん。

雄一 戻る。

ヒカリ アンタ、さつきもなんか怒られとったな。声でかいゆうて。

雄一 わかったし、戻る。

ヒカリ 入れ墨の兄ちゃんに怒られてたなあ。

雄一 こっちは巻き込まれとんねん。わかってくれや。てか、聞こえてたらなんで出て来えへんねん！

ヒカリ そんなんしたらアンタ、姉ちゃんのこと病院に連れて帰るやろ？

雄一 当たり前や！ なんで毎日毎日病院抜け出すねん。

ヒカリ 目的があるんや。

雄一 戻るで。

ヒカリ 雄一は、帰ってシナリオのセリフ一行でも書いときなさい。

雄一 姉ちゃんが病院戻ったらやるから。(ヒカリを掴もうとする。)

ヒカリ ちょい、ちょい待って。話を聴いて。一旦。

雄一 ……。

ヒカリ 姉ちゃん病気の原因分かってん。この煙突から出てる灰や。この煙突さえ塞げば、お姉ちゃんの調子、良くなんねん。

雄一 またその話か。灰なんか出てへんって。おっちゃんも言うてたやろ。

ヒカリ 嘘をついとる！ 絶対に灰が上がとる！ そのせいでお姉ちゃんの調子が悪なつ

とるんや！

雄一 元気そうやん

ヒカリ マスクしとるししばらくは大丈夫や。

雄一 戻るで……。

ヒカリ、急にせき込みだす。

雄一の方を見てアピールするように咳をする。

ヒカリ　あかん。姉ちゃんは灰のこと意識せんように努力してたんや。そやのにアンタが要らんこと言うから。

雄一　灰のこと言いだしたんは姉ちゃんの方やろ。意識の問題やったら、姉ちゃんの問題やと思うんやけど。

ヒカリ　理屈はええねん。雄一、しゃがんで。

雄一　話ついていかれへんわ。

ヒカリ　銭湯のオッサンが梯子外しよつたみたいでなあ。

雄一　ほな諦めたらええやん。

ヒカリ　そこでアンタや。

雄一　はあ？

ヒカリ　肩車して。

雄一　なんでやねん。せえへんわ。

ヒカリ　して！　して！

と、雄一をしゃがまそうと上から押さえたりするが、

立ったままの雄一。

立ったままの雄一にしがみついて、登ろうとするヒカリ。

上手くいかない。が、何度もトライする。

ヒカリ　雄一！　お願いやから一回だけしゃがんで。

雄一　煙突のぼつたらアカンって！

ヒカリ　なんでよ？

雄一　この煙突からりんちゃんも落ちたんや。そこに登って、姉ちゃんまで落ちたら俺どうしたらええねん。

ヒカリ　雄一……。しゃがんで。

雄一　話聞いとつたんか！

ヒカリ　雄一を守ってあげられる強いお姉ちゃんがいるためには、あの煙突を塞がなアカンのや。雄一、1回で良いからしゃがんで。

雄一　もう……。

雄一、しゃがむ。

ヒカリ、喜んで雄一の肩に乗りながら、

ヒカリ　さすが雄一や。頼りになるで。よっしゃ雄一、立て！

雄一、立ちあがる。

肩車してもらっているヒカリ。

ヒカリ さあ、登るでー！

雄一は、煙突に背を向けて、歩き出す。

ヒカリ 何してんねん雄一、煙突はそっちちゃうで？

雄一 さ、病院帰ろか。

ヒカリ 雄一、はかったな！

雄一 あと、はしご反対側や。

ヒカリ くそお、雄一戻れ、戻れー！

雄一、ヒカリをかついだまま病院の方へと消えていく。

□一場／#3 悲哀の過程・第一段階

銭湯の裏にあるボイラー室。

薪で銭湯を沸かしているため、炎の音がする。

岩村が台の上に腰掛けている。

携帯電話をいじっている。

実可子が入ってきて、しばらくその様子を見てみると、岩村が気配に気づき、

岩村 (携帯しまいつつ) おう。

実可子 薪、たしといてって。・・・言ったからな。

実可子がスグに去ろうとすると、岩村が呼び止め、

岩村 薪とって。そこ、割ったやつ積んであるから。

実可子 ……。

実可子は、言われた通りボイラー室入り口あたりに積まれた薪を一つ持つてくる。

岩村 もつとあつたやろ。

実可子 ・・・。

実可子は、割った薪を岩村の近くへ放り投げ、今度は、薪を数十本抱えて持つてくる。

岩村 ちよつと多いな。

実可子 ・・・。

岩村は、実可子の薪を受け取り、ボイラーに薪を焚べていく。

次第に炎の音が勢いを増していく。

岩村 （作業しつつ）俺が携帯いじってたこと、大江戸さんに言わんといてな。

実可子 ・・・。

岩村が、実可子の匂いに気づき、

岩村 実可子ちゃん。お酒のんだ？

実可子 ・・・。

岩村 ちゃんと、メシ食ってから飲んだ？

実可子 ・・・。

岩村 あかんで。すきつ腹にお酒は。

実可子 ・・・。

岩村 俺、おにぎり余ってるし、あげよか？

岩村は、そばに置いていたスーパールの袋からアルミホイルに巻かれたおにぎりを一つ差し出す。

実可子 ・・・。

岩村 俺のオカンが握ったおにぎり。

実可子 ・・・。

岩村 ここ置いとくで。

実可子のそばにおにぎりを置く岩村。

どこにも繋がらない様子で、電話を切る実可子。

実可子 ……。

岩村 もう一回電話しよか。ほら。

実可子は、また岩村に促され、りに電話する。

しかし、誰も出ない。

岩村 もう一回しよか。

今度は、反応しない実可子。

岩村 じゃあ、ラインでも入れとくか。

実可子 ……。

岩村 ライン開いて。

岩村に促され、実可子は携帯電話をラインの操作する。

岩村 スタンプ押して。スタンプ。スタンプスタンプスタンプ。

実可子は、拒否する様に携帯電話をしまい、別方向を向く。

岩村 せやな。…でも今はまだ認めんくてええねん。

実可子 ……。

岩村 りんちゃんの葬式も来うへんかったし。

実可子 ……。

岩村 あれって、受け入れられてないからやろ。

実可子 ……。

岩村 それは、それでええねん。今は、第一段階。「現実逃避」。

実可子 ……。

岩村 テレビとかでみたことない？ 亡くなった息子の死体を警察にみせられた母親が、

「あれ？これうちの子の死体ですかね？」って認めないやつ。実可子ちゃんいまあの段階。

実可子は、そばにあったおにぎりを岩村に投げつけて、

実可子 ……テレビと一緒にせんといて。

岩村に跳ね返り、転がり落ちるおにぎり。
少しの間。

岩村 あかんやんか。

岩村は、おにぎりを食べ終わり、地面に転がったおにぎりを拾いつつ、

岩村 俺のオカン、余命半年やのに。

実可子 ……。

岩村 (アルミホイルを剥きつつ) ガンなんやけどね。

実可子 ……。

岩村 最初、聴いたとき、悲しかったよ。でも、俺、「喪の作業」知ってたから、オカンが死ぬ前に、死んだ時の悲しみをスデに乗り越えてしもてさ。全然、今、平気やねん。全然、飯も食えるし(おにぎりを頬張る) ……。本来、5年くらいかけて乗り越えるらしいんやけどな。(更におにぎりを頬張る)

実可子 宗教？

岩村 違う。心理学。

実可子 ……。

岩村 38億年間、動物は、死んで生まれてを繰り返してるわけやんか。人類は、膨大な数の死の乗り越え方のデータがあるわけよ。知識として。ちよつと勉強したらわかることなんやけどね。

実可子 ……。

岩村 人は絶対に死ぬわけやから。今、生きてる人、全員、死ぬねんで。

実可子 ……。

岩村 俺も、実可子ちゃんも、 ……。りんちゃんも。

実可子 ……。

岩村 それがたまたま、りんちゃんやったけど。 ……早い遅いだけで。

実可子 ……。

岩村 残された人はさ、先に亡くなった人のこと悲しんでもええけど、あんまりズルズル引きずるのは、亡くなった人に申し訳ないとおもうねん。早くその悲しみ、乗り越えてあげるつてのは、いいことやと思うし。

実可子 ……。

岩村 「俺、「喪の作業」教えてあげるし、頑張つてその悲しみ、早めに乗り越えてあげたら？りんちゃんのために。」

実可子 ……。

岩村 俺もさ、オカンのために早めに乗り越えてあげたら、オカンといつも通りの生活をしてるし。な。

ボイラーの炎の音がバチバチと激しくなり始める。
しばしの間。

実可子は、岩村の方へ向き、

実可子 ……どうしたらいいんですか？

岩村は、おにぎりの最後の一口を口に放り込み。

岩村 よっしや。ちよつとはじめは気持ち悪いかもしれんけど、俺、エスコートしたるし、りんちゃんとの思い出を全部、吐き出そうか。そしたら早めに「第一段階」の「現実逃避」を順調に乗り越えられるから、次は否応なく「第二段階」の「漠然とした怒り」がやって来るから。

実可子 ……。

更に炎の音がバチバチと激しくなっていく。

岩村 まずは、思い出してみよつか。りんちゃんどうやって出会ったのか、とか、なんか聞いた話とか……。

実可子 ……えーつと………。

岩村 思い出せるか？……大丈夫か、実可子ちゃん？

岩村はいつのまにかいなくなり、学校の体育館の屋根の上から景色を見下ろしている実可子へと回想していく。

□二場／#1 過去回想、体育館

体育館の屋根の上に登って景色を見下ろしている実可子。

声 ……なあ。

実可子 え？

下から声が聴こえて、実可子が屋根の下を見下ろすと、そこには、制服姿のりんがいた。

りん そこ、どうやっていったん？

実可子 あ、えーっと、

りん 3組の子やんな？

実可子 は、はい。

りん アカンやん、体育館の上のぼつたら。

実可子 あ、すみません。

実可子は、焦って屋根から降りようとする。

りん ウソ、ウソ！うちも、登りたい。

実可子 あ、え。

りん 転校してきた子、やんな？

実可子 あ、はい。戴下実可子です。高いところからすみません。

りん どうやって登るん？

実可子 あつちに登るとこあつたんですけどー。

りん (敬語に対して) え、同い年やんかー。

実可子 え。

りん 敬語やめてよー。

実可子 あ、うん。・・・わかった。

りん これ、どうやって登るん？

実可子 そこに足をかけて・・・、手をここに、

と、実可子は、りんを誘導する。

りんは、体育館の屋根の上へと登り切る。

りんは眼下に広がる景色を見下ろして、

りん ああ！凄い！わー。穴場やな。ここ。

実可子 うん。

りん ……で？ なにしてたんこんなところで。死にたいの？

実可子 違うよ。この町、どんな感じか見たくて。

りん え？ しょうもないやろ。

実可子 そんなことないよ。緑が多くてええなあつて思ってた。

りん だつてき、見てよ。あつこに山あるやんか。

実可子 あー。上だけ木があつて、横が土むき出しになつてるヤツ？

りん そう。あれ、プリンに見えへん？

実可子 ああ。

りん なんて、あれプリンみたいになつてると思う？

実可子 えーなんでやる……。

りん スキー場開発のときに山の木持つていかはつてん。だから横の木、禿げてもうてて。

実可子 へえ。

りん でな、あつこの河原は、台風で崖くずれ起こしてて、ほつたらかしやし。その前の道は、工事やりかけで道ガツタガタな上に街灯暗くて、変質者多いし。夜はあつこの汚つたない病院の前の通らなあかんし。あの病院、ヤブらしいし、氣いつけや。こつからじゃ、茂みしか見えへん。

りん よー見て。

実可子 たしかに茂みの奥にうつすら建物が……

りん と言いつつ、うちその病院の食堂で、バイトしてんねんけどな。

実可子 バイトしてんねや。

りん うん。上登つても、寺しかないし、下つても、大っきい郵便局とラブホしかないし。しょうもないで、ほんま。……で？ どつから転校してきたん？

実可子 元々、うち、こつちやつてんけど。お父さんの仕事の都合で、いろいろ引つ越し繰り返してて……。親がいろいろあつて一旦こつちに戻つてきてん。

りん 重いヤツ？

実可子 ううん。ただの離婚なんやけどな。

りん ああ。へえ。

少しの間。

実可子 (指して) あつこに煙出してる煙突あるやんか。

りん 朝日湯？

実可子 あの煙突、かっこよくない？

りん 煙突？

実可子 煙突。

りん あんまりそういう目ではみたことなかったなあ。

実可子 かっこええ思うんやけどなあ。

りん あつこ、煙、凄いつて印象しかないわ。

実可子 実は、今、あつこに住ましてもうてて。

りん 煙突に？

実可子 んなわけではないやん。

りん 朝日湯？

実可子 あの銭湯の隣の家に。親戚やねん、あつこの経営者。

りん へえ。そうなんや。薪でお湯沸かしてる銭湯やんな？ うちめつちや近所やで。あ

つこに団地あるやん。あれ。

実可子 ああ。近いな。

りん え、じゃあ、一緒に帰ろうよ。学校行くときの近道とか教えてあげるわ。

実可子 え、あ、うん。やった！ちよ、この町をインプットするわ。

りん インプット？

実可子は、この町の風景を覚えておこうと、道を指で辿ったりしている。

りんは、実可子の背後から背中を押す。

りん うえい！

実可子 (驚き) わ！ちよ、

りん ビビりすぎー。

実可子 びっくりしたー。

りん 死なへん、死なへん。

実可子 今、インプットしてんねんから。

りん (また押して) うえい！

実可子 もー！

実可子は、りんを押し返す。

りん あかんあかん高いところで冗談したら。

実可子 そつちがしてきたんやんか！

りん ごめんごめん。

実可子 降りよ。

降りる方向に足を向ける実可子。が、

りん とう。

と、ジャンプで地面に降りるりん。
実可子の方へ振り返り、

りん 行こう！

実可子 あ、うん。あ、あの、名前って

りん あ、うち？ 坂上です。

実可子 坂上さん。

りん ほら、ジャンプ！

実可子 ええ・・・つと、とう！

実可子もジャンプする。

地面に着地する。

実可子 お待たせ。

りん 行こ。

歩き始める二人。

りん 銭湯のおつちゃんにき、煙突の煙、凄いから、夕方以降窓開けれへん言うといて。

実可子 うん。オツケ。

と、二人が歩いていき、気がつくとも実可子の少し後ろを歩いていたりんの姿は消えていて、

岩村の姿になっている。

回想から一気に現実へと引き戻されてしまう実可子。

岩村は、背後から実可子の耳元で囁く様に、

岩村 いいねいいね・・・。そうやって、どんどん思い出そう。気持ち悪いか？ん？俺、

気持ち悪いか？ん？ でも、俺がいることで、実可子ちゃんは、「悲哀の過程」
を早めることができる。行こう。「悲哀の過程」のその先へ。

というとも岩村は消え、りんが現れ回想していく。

□二場／#2 回想、帰り道にて

その三日後。

下校中で歩いている実可子とりん。

りん 実可子は、友達つくらなあかんから。絶対あだ名つけたほうがいい……お
チビとかは？

実可子 うわ、ムカつくー。

りん かわいいやん。おチビちゃん。(呼んでみる) おチビちゃん。チビ助。チビ丸。
お、ちようどいいやん。チビで、丸いし。

実可子 ほんまムカつく。じゃあ、あんたのことは、魚住って呼ぶわ。

りん ええなにそれー。

実可子 魚住ー、魚住ー、魚住ー。

りん 口縫うたるか。

実可子 魚住さんと結婚するんやろー。

りん はあい、手術はじめまあーす。

りんは実可子のほっぺを掴み口を縫う動作をはじめ。

実可子 ほめんほめん(ごめんごめん)。

りん なんてー？

実可子 ほめんって(ごめんって)。

りん 絶対、誰にも付き合ってること言わんといてな。実可子にしか言うてへんねんか
ら。

実可子 おん、おん(うん、うん)。

りんは掴んでいたほっぺを離す。

実可子 もー、普通でよくない？うちもりんちゃんって呼ぶし。

りん せやな。普通が一番やな。

実可子 うん。

りんは、煙突の上を見上げ、

りん アンタんち、今日も煙すごいなあ。

実可子 うん。

しばし、二人は煙突の上を見上げ、

りん　ウチこつちやし。じゃ！

実可子　ああうん。

りんが、家の方向へ消えると、岩村が背後に現れ、実可子は、また一気に現実へと引き戻される。

岩村は、背後から実可子の耳元に囁く様に、

岩村　いいねいいね。どんどん行こう。

実可子　・・・

岩村は消え、再び制服姿のりんが現れる。

実可子は、ゾンビを演じ、回想していく。

□二場／#3 回想、ゾンビ映画

実可子は、ゾンビを演じ、りんを襲う。

りん　やめて！来ないでー、来ないでー！

りんは、手元にあるもの投げたりする演技。

それでも迫ってくる実可子ゾンビ。

追い詰められて、りんは、チェンソーを取り出す演技。

実可子　（チェンソーに対して）ちよ、なにそれ？

りん　ゾンビは喋ったらあかん！

実可子　（ゾンビに戻り）ああああ！

りん　来るな、来るな！

実可子、更に追い詰めようと走る。

りん　ゾンビは走っちゃだめ！

実可子　あ、うん。

りん　来るな、来るな！

実可子 ……あの。こつからどうしたらいい？

りん ドント、シンク、フィール。

実可子 (勢い良く襲いかかる) おおー。

実可子は、りに抱きつく。

抵抗むなしく、実可子に食べられる演技をするりん。

りん カット、カット！

実可子 なにこれ。

りん あかん、ニヤけちゃう。

実可子 ……香水つけてる？

りん わかる？

実可子 わかる。

りん 変かな？

実可子 変じゃないけど、どうしたん？

りん プレゼント。

実可子 魚住？

りん 魚住言わんというて。はい、もう一回行くで。

実可子 まだやんの？

りん 実可子、ゾンビ恥ずかしがつてるもん。もつときあ「(ゾンビを大げさに演じて)

あああ！」みたいにできひんの？

実可子 えーそこまでやるん？

りん ゾンビの基本は？

実可子 「喋らない・走らない・考えない。」

りん はい、それを理解した上で、持ち場について！

実可子は、りんと距離を取り、寝転ぶ。

りん はい、集中して。よーい、アクション！這い上がって来てー！

実可子 (ゾンビで) あああ！

りん 来ないで、来ないで！(と、手元の物を投げる演技)

りんは、手元にあるもの投げたりする演技。

それでも迫ってくる実可子ゾンビ。

追い詰められて、りんは、大きな銃を取り出す演技。

実可子　ズルイってー。
りん　喋ったらあかん。(銃を撃つ演技で)ズバババ!
実可子　うわあああ!
りん　苦しんで、苦しんで!
実可子　うああああ!
りん　火炎放射いきまーす。ぶああー!
実可子　あああ!
りん　焼け死ねー!
実可子　あああ!(死んだ演技)
りん　生き返って!
実可子　今のは、死ぬやろ。
りん　死なへんねん、ゾンビは。
実可子　ゾンビ、大変やな。
りん　死人に口なし。
実可子　。。。
りん　はい、立って!
実可子　ごめん、ひとつ聞いていい?・・・無茶ぶり多くない?
りん　実可子が上手くならな、うちも、上手くならへん。
実可子　うち映画出えへんのに?
りん　監督に出れるよう言うといたらるか?
実可子　水野雄一やろ?
りん　出たい?
実可子　りんちゃん、好きなん?
りん　なにが?好きちゃうよ。なんで?
実可子　めっちゃ映画、頑張ってるから?
りん　雄一さん、頑張ってくれてはるし、うちも頑張りたいやん。
実可子　普通、こんだけ頑張ってくれてたら、好きになっちゃうって。
りん　ないない。はい、やるで。あとで、香水つけたるし、な。もう一回。よーい、アクシオン!
実可子　・・・(面倒くささを示し)えー・・・。
りん　普段のうちに対する怒りをこめて。這い上がってこい・・・チビすけ・・・チビ丸!・・・まるちゃん、小デブちゃん!
実可子　(襲いかかる)うおおお!

実可子は、りんに襲いかかるが、りんはいつのまにか消えている。ゾンビのまま彷徨う実可子の背後に岩村がいて耳元で陽気に、

岩村　いいね。いいね。楽しそう。さあ、どんどんいこう。楽しいな、楽しいな、レッツ

ゴー！

りんが再び現れて、更に回想していく。

□二場／#4 回想、りん回転

りんはグルグルと独楽のように回転している。

どんとんと回転速度が上がリ、回転の勢いが上がっていくさまに、そばにいた実可子は、

実可子　なになに、怖い怖い怖い………。

りんは目が回り転倒する。

地面に突っ伏し、目が回っている様子のりん。

実可子　………なにしてんの？

りん　うー。

実可子　どしたん？

りん　女いたー。

実可子　え？ 魚住？ ほらあ、言うたやんかー。

りん　その女にも会った……。

実可子　な、やめといたほうが良かったんやて。

りん　(頬を撫り) 口の中、ジャリジャリしてる。

実可子　なにがあつたん？

りん　口の中つて、なんでバンソーコー貼られへんのやろな。

実可子　とりあえず服、汚れるし……。

りん　うんー。

実可子　なんて言うていいかわからんけど、子供おらんかっただけマシやつ

て。……うちのお父さん、子供おつてそういうことしてはったし。浮気つていうか不倫やけど……うち、これ、励まし方下手くそやな。なにが言いたいかっていうと……、

りん あーヤンキー嫌いやー!

りんは再び起き上がり、独楽のように回転します。

実可子 ごめんごめんごめんって!

りん (回りつつ) ちゃうってちゃうって!

りんは更に、勢い良く回転する。

実可子は、それに対して謝っている。

りんは、目が回り、転倒する。

りん (地面に突っ伏して、目が回りつつ) あー………気持ちいい。

実可子 え、だから、なによ(回転に対して)それ。

りん コレ、忘れられる。

実可子 へええ………。

りん 目が回るー。

実可子 (りんの目をみて) ……ほんまや目が、ギョロンギョロンしてる。ほんまにそれ忘れられんの?

りん 実可子もやってみいや。

実可子 う、うん。

実可子は、ゆっくり回りだす。

どんどんと勢いを上げて行く。

悲鳴を上げつつも、回転速度を更にあげる。

目が回り、地面に転倒する。

実可子 あああ!回るー。世界が回るー。地球回ってるー。

りん ちよつと、忘れられるやろ。

実可子 それどころじゃないー。

りん 一時的なもんやけどな。

実可子 充分やわあ。ああ、まだ回ってるう。

実可子の目が回るのが落ち着くと、

りん ……友達作りや。

実可子 ……。

りん 実可子、英語のテスト、2点やったらしいな。

実可子 やめて！

りん 数学も13点やったやろお！

実可子 あああ！

実可子は、また回り始める。

りんも楽しくなり、同じように回る。

二人の回転は、勢いを増して行く。

目が回り転倒する実可子とりん。

実可子 (目が回って) あああ。

りん 立てるか？ もうちょい休むか？

実可子 ん？ああ、え？

りん え？

実可子 いける？

りん ん？

などと、お互い探り合って笑い合っている。

以降、三場のあいだも、起き上がって回ったりと、二人の遊びは続いて行く。

□三場／#1 幸子の伝言

めぐみのアパートの前。

待ち伏せしている様子の幸子。

そこへ、めぐみが現れる。

幸子の滑舌は相変わらず悪いままで。

幸子 あの……。

めぐみ なに？

幸子 あの……。

めぐみ もう話ないはずやけど。

幸子 ……りんちゃんが。

めぐみ もう済んだやん、あの後、仲直りしたし。

幸子 りんちゃんが亡くなったそうです

めぐみ ……なんて？
幸子 りんちゃんが亡くなったそうです。
めぐみ え？
幸子 (丁寧に) りん、ちゃん、
めぐみ 今ので伝わったから。
幸子 すいません、口のメカニズム悪くて、伝わってるか不安で。
めぐみ マジで言うてる？
幸子 はい。

しばし間。

めぐみ え、どういうこと？なんで？
幸子 転落したみたいで。
めぐみ ……
幸子 (丁寧に) 転落、し、た、
めぐみ (遮って) 聞こえてるって
幸子 あ、すいません。
めぐみ え、あのニュースって…。
幸子 朝日湯の。

間。

めぐみ 嘘やろ……なにそれ、なんでわざわざ言いに来るん？
幸子 一番に思いついたから、言わなと思つて。
めぐみ わたしのせいやって言いたいの？
幸子 違うんです、違うんです、知ってる人に全員に言わな思つて。
めぐみ 何言ってるかわからんねん、はつきり喋つて！
幸子 ごめんなさい。口のメカニズム悪くて。

幸子は、去っていく。

□三場／#2 病院1

ヒカリの病室。
ベッドで寝ているヒカリ。

その横に付き添う様になっている雄一。

雄一 俺が買つて来るし。待つてて。

ヒカリ 嫌。

雄一 ダメ。

ヒカリ なんで？

雄一 なんで？ 逃げるし。

ヒカリ 逃げへん。100パー（100%の意）逃げへん。

雄一 100パー、逃げるやん。

ヒカリ ちやうねん。

雄一 ちやうねんと、ちやうねん。

ヒカリ ちやうねん。この部屋。息苦しい。

雄一 頼むし寝てて。

ヒカリ ……ほんま、ここずっとおったら、息苦しいんや。

雄一 あと必要なもんなんもない？

ヒカリ ……あんた、こんな姉ちゃんの世話ばかりで大丈夫か？

雄一 なにが。

ヒカリ 心配なつてきたわ。

雄一 なに急に。

ヒカリ ……この前のシナリオコンクールとか結果どうやったんや？

雄一 アカンかったよ。

ヒカリ そつか。

少しの間。

ヒカリ やっぱ、姉ちゃんのせいやんな。姉ちゃんに時間使つとるせいやんな。

雄一 それは、別に関係ないよ。

ヒカリ ええか。こうしてる間にもライバルは、一行でも多くセリフを書いとるわけやろ？

雄一 （買い出しに）じゃあ、行くで。

ヒカリ 姉ちゃんのことはいええし、気にせんとあんた・・・、あんた、はよ東京行き。あんなの才能はこっちにあつても正当に評価されへんよ。東京でな荒波にもまれた方がイイ。日本のメディアは東京にしかないんやから。

雄一 ……

ヒカリ 地方はな、元気があつて勢いで面白いこと言える人しか生きのこらんねん。あんな、勢いで面白いこと言えるか？ 才能が勿体無い。気づいてもらわれへん場所にいてもしやあない。

雄一 …… あんな、姉ちゃん。そこが大事やねん。いいか、俺みたいに暇なやつおらんやん。おれみたいに毎回、毎回、でかいシナリオコンクールに応募してくるやつて、レアやねん。周りのやつ、特に東京のやつは、みんな忙しいからさ、年間1本とか2本とかそんなんしか書かれへんねん。俺は、未完成も含めて10本は書いてんねん。その10本っていうのが、コッチにいる理由やし、東京には勝てないであらう俺なりの、技やねん。わかる？

ヒカリ …… あんた、手きれいやな。

雄一 なんの話よ。

ヒカリ こんな綺麗な手で書いた映画誰がみたいねん。

雄一 は。

ヒカリ みんな皿洗いとか現場作業とかして、カッサカサなったり、ボコボコしてる手で書くから、生活感があつておもしろいやんか。こんな、綺麗な手では、呑気なもんしかつくれんて。

雄一 …… なにがわかんねん。

少しの間。

ヒカリ (天井を見上げて) ヤバい、天井に矢印がある。

雄一 ないよ。

ヒカリ コッチか。

ヒカリはベットから降りて、そのまま病室を出ようとする。

雄一 (止めて) 逃げたらあかん。

ヒカリ ……

雄一 (ヒカリをベットへ戻し) もう病院から逃げるなよ。

ヒカリ ……

雄一 刑務所は無料やけど、病院は有料やから逃げてもいいとかゆうなよ。

ヒカリ ここは有料の刑務所や。

雄一 逃げるなよ。ええな。必要なもんは俺が買ってくるし。

そう言い残し、ヒカリの病室を後にする雄一。

天井を見上げるヒカリ。

病室を抜け出すヒカリ。

□三場／#3 病院の食堂

ヒカリの入院する病院内の食堂。

ここは、りんの元バイト先でもある。

店頭立つ幸子。

幸子 (滑舌悪く) ありがとうございます。またお越しくださいませー。

と、接客をしている様子。

そこへヒカリがやってくる。

ヒカリ 幸子ちゃん。

幸子 あ、雄一くんのお姉ちゃん。

ヒカリ おーおー。幸子ちゃんやったなあ。

幸子 はい、幸子です。

ヒカリ 幸子ちゃん、ちよつと頼みたいことがあるんやけどな。手伝ってくれるか？

幸子 え、今ですか？

ヒカリ 今や。

幸子 でも今バイト中なんで。

ヒカリ そうかー。惜しいなー。

ヒカリは、そう言っ店にとどまる。

幸子 何が惜しいんですか？

ヒカリ 幸子ちゃん、口のメカニズムで悩んでるゆうてたな、

幸子 はい、口のメカニズムが悪くて悩んでいます。

ヒカリ そのことや。

幸子 はあ。

ヒカリ 実は、タイに、安くて、そういう口周りの手術がうまい先生がおる病院があるんや。

幸子 タイ？

ヒカリ　姉ちゃん、数々の病院に入院した経歴を持つてるから、いろんなお医者さんと知り合
いでな。

幸子　はい！

ヒカリ　・・・声優になりたい子とか俳優になりたい子とかが、結構行ってるらしいんやけどな。

幸子　口のメカニズムを何ですか？！

ヒカリ　知りたいか？

幸子　まあ、はい。できれば。

ヒカリ　ちよつと、お願いしたいことあるし、うちの病室まできてもらっても良い？

幸子　いつですか？　今日は、まだバイトが・・・。

ヒカリ　今や。

幸子　今つすか？

ヒカリ　今、幸子ちゃんの力が必要なんや。待つてるで。

幸子　でもバイト中なんで・・・。

ヒカリ　どうにかして抜け出してきた。な。ほな待つてるし。

幸子　ちよつと！　無理つすよ、今は！

ヒカリ、去る。

幸子　今は無理つすよ・・・。

しばし店頭に立っているが、

幸子　アレ。なんかお腹痛いな。なんやろ。アレ、なんか立ってられへん・・・。ちよつと、

店長すみません、体調が、ちよつと、なんやろ・・・アレエ？

幸子はバックヤードに消えて行く。

□三場／#4　魚住のアパート

魚住住むアパートのワンルーム。

三角座りで泣きじゃくるめぐみ。

魚住　うるさい。

めぐみ　・・・ごめん、

魚住　めんどくさい。

めぐみ でもー。

魚住 明日仕事やし。

めぐみ (泣いている)

魚住 なんやねん！ 毎日毎日、家来て、帰れや！ (思わず大きな声を出してしまい) 近所迷惑なるから。帰って。ほんまに。

めぐみは移動して壁に張り付くように部屋の隅へ。
そして、泣いている。

魚住 ……気になるから。

めぐみ ……。

魚住 お前、マジで、マジで、マジで、まじで！ (めぐみをつかみ) ……マジやぞ、これ！ ……な、マジやから、やめて。お願いやし。

アパートの隣室から壁をドンと叩かれる。

魚住 壁ドンてされたし。な。

めぐみ ……。

魚住 もう、今日は帰って。今日こそ、帰って。

めぐみ 一人になったら…一人になったら…。

魚住 なったら？

めぐみ 死ぬ。

魚住 死ぐってなんやねん。

めぐみ 死ぬ。

魚住 ……。

めぐみ 死ぬ！ うちも、あんたの浮気した女みたいに死ぬ！

再び、アパートの隣室から壁をドンと叩かれる。

魚住は、隣室の壁に向かって叩き返す。

何回も何回も何回も。

静まる隣室。

魚住 ……。

めぐみ ……。

魚住はめぐみに抱きしめようとする。
めぐみは拒否する。

めぐみ やめて、痛い！

魚住 なんやねん！ 女マジでなんやねん！

魚住はベットに突っ伏す。

めぐみ (魚住の頭をなでつつ) ごめんな。・・・こんな感じで。

魚住 とりあえず、メイクおとしてこいよ。(言い直して) アイライン、パングみたいになつてるから。

めぐみ ・・・ごめん。

□三場／#5 ヒカリの病室2

ヒカリの病室のベット。

頭まで布団を被っている。

そこへ雄一が入ってくる。

布団の方へ喋りかける。

雄一 姉ちゃん、買って来たでー。

布団の中から声が聴こえてくる。

声 うーん・・・。

雄一 寝てたんか？

声 うん。

雄一 珍しいな。おとなしく寝てるなんて。おとなしく寝てるのはええことやねんけどな。これ、サンドウィッチ買ってきたし、食堂の。一回起きて食べ。

声 大丈夫。

雄一 あと、今日おらんかったわ、姉ちゃんが仲良くしてる言うてた滑舌悪い子。ちょっと一回、起き。そんだけがつつり布団被ってたら苦しいやろ？

と、雄一は、布団を引っ張るが、めくれない。

雄一 ？

雄一は、引つ張つてみると、引つ張り返される。

雄一 とりあえず一回、起き。

雄一は、布団を引つ張る。

と、布団がめくれる。

そこには、幸子がいる。

雄一 何してんねん！

幸子 ああー！ こここここんにはは、すいません。

雄一 くそう、姉ちゃんやりよつたな！姉ちゃん、どこ行つたんすか？

幸子 寝てるように言われて・・・

雄一 え？

幸子 寝てるように言われて・・・。

雄一 (滑舌が悪く理解していないが)・・・はい。

雄一は病院を出る。

幸子 ああ、雄一くんを騙してしまつた……。でも、うちの口のメカニズム直せるかもし

れんから・・・ごめん、雄一くん！

□四場／＃1 遊戯療法と、悲哀の過程 第二段階へ

実可子は、りんと遊んでいたが、いつの間にか岩村と入れ替わっている。

ここは、朝日湯のボイラー室。

時刻は、昼過ぎ。

岩村は、実可子にプロレスの技のエルボーアタックを教えている。

実可子は、シャドウボクシングの要領で、目の前の仮想敵に肘(エルボー)をぶつけている。

何度も、夢中になつてぶつける実可子。それに対して、岩村が指導している。

岩村　　ちやうちやう。それは普通のエルボーやんか。プロレスはショーやからな。魅せるエルボーをせなアカン。やってみるで。

岩村は、目の前に想定した仮想敵に対して、間を溜めて、

岩村　　（力強くエルボーを放ち）おらあ！

実可子　　・・・

岩村　　やってみ。

実可子は、岩村の真似をして、仮想敵に対して、間を溜めて、

実可子　　（力強くエルボーを放ち）おらあ！

岩村　　おお、ええやんか！　今のはお客さんもドキドキするわ。ほんで、エルボーを受ける方も大事でな。ちよつと、俺にエルボーしてみて。

実可子　　（間を溜めて、岩村にエルボーを当てる）おらあ！

岩村　　ぶあああ！（大きさに仰け反って倒れる）

と、ボイラー室へ大江戸が入ってくる。

プロレス技で遊んでいる2人に対して、

大江戸　　何してんねん？

岩村　　あ、大江戸さん。

大江戸　　早く掃除せえよ。お前。何してんねん？

岩村　　あ、エルボーっす。

大江戸　　なんでエルボーしてんねん？

岩村　　遊戯療法っす。

大江戸　　遊戯療法？　そんなんええから、早く掃除して。3時オープンやから。それまでに湯も溜めなアカンし。

岩村　　先、エルボーでも良いっすかね？

大江戸　　先、掃除やろ。っていうか、後にもエルボーの時間とか無いし。

岩村　　いやいや、今、結構良いとこまで来てんすよ。ほら見てください。実可子ちゃん元気じゃないすか？

実可子は、懸命にエルボーの練習をしている。

大江戸

・・・まあ、元気やな。

岩村

とまあ見た目は、元気になってるんですけど、心の中はグツチャグチャの抑鬱っていう状態なんですよ、今。たぶんもうちょいで“第二段階”入るんで、遊戯療法使つて、その段階を早めてあげようっていう。

大江戸

（呆れて）ちよつともうそれ良いから。自然にしといてあげてよ。

岩村

いやでもね、人間どうせ立ち直るわけじゃないですか。嫌でも。だったら早く立ち直る方が、良くないですか。

大江戸

ええからもう、早よ風呂、掃除行け！

岩村

・・・はい。

岩村は、風呂の掃除へ向かう。

それでも懸命に実可子はエルボーの練習をしている。

大江戸

お前も何してんねん。プロレス嫌いやったんちゃうんか。

大江戸の静止に、エルボーをやめる実可子。

大江戸

ええし、両替。銭湯あけるまでにお釣りの両替しといてや。

大江戸、去る。

うづくまる実可子。

時間経過。

そのまま、夕方になる。

岩村、やってくる。

岩村

・・・実可子ちゃん。まだおったん？

実可子、顔を上げる。

岩村

もう夕方やで。

実可子

え？（日が暮れかかっていることに気がつき）・・・ああ。

岩村

時間の感覚なかったか。

実可子 ……

岩村 良い傾向や。表面的には元気に見えるけど、心の中は鬱々としてる。順調に進んでるな。もうすぐ、前に言ってた怒りの第二段階に入るからな。

実可子 うるさい。本に書いてあることと一緒にしやんといて！

岩村 あれ、もう怒り入ってる？

実可子 入ってへんわ！

岩村 (陽気に) 怒ってるやん。

実可子 怒ってへんわ！

と、実可子、ボイラー室を出ていく。

岩村 順調やで、実可子ちゃん。

岩村は満足げに実可子を追いかけて行く。

□四場／#2 公園(夜)

時刻は夜ごろ。

魚住が公園で待っている。

そこへ、雄一が現れる。

魚住 持ってきたか。

雄一 はい。

魚住 ……出せ

雄一 ここでつすか。

魚住 おお。

雄一 魚住さんも持ってきたんすか？

魚住 おお

雄一 え、じゃあ魚住さんも出してください

魚住 ごちやごちや言ってるんとお前から早よ出せや！

雄一 はい、すいません

雄一 見せるんで、もう蹴らないでくださいね。

魚住 はよ、出せ。

ビデオカメラを出す。

魚住 これか。

雄一 はい。

魚住 再生しろ。

雄一、再生する。

映像が流れているようだが、カメラの画面で再生されているため客席からは、漏れ聞こえる音しか聴こえない。

魚住 ・・・(映像に対して) なんやねん、この映像。なんでこんな撮ってん？

雄一 映画のメイキングつす。

魚住 メイキング？

漏れ聞こえる音がりんのインタビューであることがわかる。

りんは、インタビューの返事で「好きです」と言ったところで、心笑う。

魚住 (急に激昂して) お前ほんまに変なことしてへんやろな！

雄一 してませんよ！ ほんまに。この前も言うたじゃないつすかー。

魚住 これ、映画の本編も見せろ。

雄一 いえ、本編は撮る前に・・・。

魚住 ああ。

映像終わる。

魚住 お前。これ、くれや。

雄一 ええ？！

魚住 ちやうやんけ。カメラごとくれって言ってんちやうねん。映像だけくれや。

雄一 ああ。

魚住 なんか、そんなん出来ひんのか？

雄一 ああ、そうですね。USBメモリとかあれば。

魚住 あん？ 何やそれ？

雄一 いや、USBメモリですよ。知らないですか？

魚住 何か、機械関係か？

雄一 機械関係つて・・・。

魚住 機械は苦手や。殴つても言うこと聞かんやつは苦手やねん。

雄一 ウケますね。

魚住 は？なんやて！

雄一 ごめんなさい。

魚住 ほんで、USBでなんや？ あの、ちんすこうみたいなやつか？

雄一 ちんすこう？

魚住 何かあるやろ。ちんすこうみたいな形の、機械の横にぶっ刺すやつや。

雄一 パソコンのこと「機械」って呼んでます？

魚住 ちやうんか？ 機械の横にぶちかますちんすこう。

雄一 いや、ちんすこうがピンときてないんすよ。

魚住 お前なんでちんすこう知らんねん！

雄一 それはパソコンのこと知らんのおあいことさせてください。

魚住 なんか、こんな形のやつや。(手で示す)

雄一 ああ、たぶんそれです。USBメモリ。

魚住 ぶっ刺しちんすこうを買えば良いんやな。ジョーシンに売ってるか？

雄一 ああ、ジョーシンでも、マツヤデンキでもあると思います。

魚住 よつしや。じゃあそれ買ってくるから映像くれよ。

雄一 あの、「くれよ」っていうのは、タダですか？

魚住 おお、なんや。いくら欲しいねん？

雄一 いくらっていうか、その・・・

魚住 遠慮せんでええから言うてみ。

雄一 そういうんじゃないくて、なんて言うか・・・

魚住 ハッキリ言えや！殺すぞ！

雄一 魚住さんも何かください。

魚住 あん？

雄一 魚住さんが持つてるグッズと交換してください。

魚住 おお、そういうやつか。ものもの交換な。

雄一 物々交換です。魚住さん、何持って来てくれはったんですか？

魚住、タオルを取り出して、

魚住 これ、りんがいつも使ってたフェイスタオルや。

雄一 うわ！ じゃありんちゃんこれで顔拭いてたんすね！

雄一、タオルを受け取って、

雄一 え、これ洗いました？

魚住 おん

雄一 何やってんすか！ 臭いが流れちゃうじゃないすか！

魚住 しゃーないやんけ！ こんなことになると思っついてないんやから。

雄一 じゃあこれ、映像と交換でもらつときます。

魚住 あとなあ、これもあんねん。

魚住、バスタオルを出す。

雄一 え、バスタオル！ 体拭いてたやつってことですか？！

魚住 まあ、これも洗ってるけどな。

雄一 いやでも、すごいつすよ。

魚住 お前は何かないんか？

雄一 あ、まあ、これつすかね。

雄一、ジップロックに入ったハンカチを取り出す。

雄一 ハンカチつす。

魚住 りんの？

雄一 忘れていったんす。洗ってないんで、臭い残ってますよ。

魚住 貸して。

魚住、ジップロックをひったくり、ガバッと開ける。

雄一 ちょっと！何やってんすか！

雄一、慌てて奪い返し、チャックを閉める。

魚住 なんやねん。

雄一 そんなガバッと開けたら臭いが逃げるじゃないすか。雑なんすよ。タオルも洗うし。

魚住 うつさい。

魚住、殴るフリ。

雄一 たとえ殴られても、これだけは譲れないつす。

魚住 どこで男気出してんねん。

雄一 うつす。

魚住 褒めてないけど。じゃあどうやって臭いかぐねん？

雄一 これっすよ。

雄一、ストローを取り出す。

ジップロックを少しだけあけて、ストローをさす。

雄一 これで吸ってください。

魚住、ストローで吸う。

魚住 あー、来た。うつすらやけど分かるわ。

雄一 それぐらいの方が長く楽しめるんす。

魚住 もつかい吸っても良い？

雄一 はい。

魚住、ストローで吸う。

魚住 あー、ええわ。こういうの、捨てられへんよなあ。

雄一 はい。

魚住 あ、俺、家に歯ブラシもあるわ。

雄一 え、マジっすか！・・・ください。

魚住 タダではあげられへんよ。お前なんか、歯ブラシと張り合えるもん持つとんけ？

雄一 無茶言わんといってくださいよ。僕はただの片思いなんすから。

魚住 じゃああげられへんな。

雄一 待ってください！ お金なら払いますから！

魚住 お金ちやうよ。

雄一 お願いします！ 言い値で、いくらでも出しますから！

魚住 ・・・・じゃあ、1万5千？

雄一 え？やつす！

魚住 え、そうなん？ いや、こんな相場とか分からへんからさ・・・。

魚住と雄一は消えて行く。

その光景の背後に現れた実可子は、

実可子　おい。何勝手に売り買いしてんねん！おい！それりんちゃんのものやろ！りんちゃんのおらんとここで勝手なことすんなや！おい！

岩村、現れて、実可子の背後から。

岩村

腹たつよなあ。りんちゃんおらんとここで何やつとんねなあ。りんちゃんおらんのおかしいよなあ。りんちゃんがおらんに、堂々とまわってる世界腹立つよなあ。おかしいよなあ。でも、今その怒り、漠然としてるやん。それもつと具体的にしていかがへん？　りんちゃんが死んだ原因探っていこうや。りんちゃん何で死んだんやろ？　誰が悪いんやろ？　どうしたらりんちゃん死んで済んだんやろ？　あいつがわるいんかなあ？　あれが原因かなあ？　これかなあ？　それかなあ？　それ探っていこうや。思い当たるやつ、1つずつあたつていこうや。その怒り具体的にしていこか。

制服姿のりんが現れる。

□四場／#3　怒りの中の回想 雄一の部屋

ここは雄一の部屋。

りと二人きり。

りん　いい部屋ですね。

雄一　あーそう

りん　綺麗にしてはるんですね

雄一　うん、まあ。

りん　へー。

怒りに頭を抱え悶えている実可子。

りんは、窓の外を眺め、

りん　山、綺麗にみえるんすね。

雄一　あ、カーテン閉めてもらってもいい？

りんカーテン閉める。

雄一　なんか部屋汚くてごめん。あ、ベットしかないけど、座って座って。
りん　はい。

雄一　お茶、飲む？

りん　あ、あるんで大丈夫です。

雄一　とりあえず、映画、まだシナリオできたないから、メイキングから撮ろ。

りん　メイキングって先撮るんですか？

雄一　これインディーズ映画やし。

りん　そうなんですか

雄一　撮影の感じとか、りんちゃんに慣れておいてもらおうとおもって。こういうの初めてやろ？

りん　はい

雄一　そういうことも含めて、稽古。

りん　お願いします。

雄一　質問事項は、このカンペにまとめたし、これを見て質問に答えてな。
りん　これみて、答えたらいいんですね。

雄一　はカメラを回し出す。

インタビュウの書かれたカンペを出しつつ。

雄一　じゃあ、回りました。・・・どうぞ。

りん　坂上りんです。

雄一　（カンペをめくる）

りん　はじめてです。

雄一　（カンペをめくる）

りん　うまくできるか緊張してます

雄一　（カンペをめくる）

りん　ドキドキしてます。

雄一　（カンペをめくる）

りん　好きです。

雄一　（カンペをめくる）

りん　あ、それも好きです。

雄一　（カンペをめくる）

りん　ダイハードです。

雄一　（カンペをめくる）

りん やんちゃな子が好きです。

そこへヒカリが入ってくる。

ヒカリ 雄一！ 雄一！

雄一 (ヒカリに) ちよつと待って！

ヒカリ ええから、ちよつと来て！

雄一 (りに) ごめん。

りん あ、うん。

雄一 もうバイト行かなあかんねんな。

りん あはい。

雄一 ちよつとまっとな。

雄一は、部屋を出る。

りんは部屋を見渡している。

ヒカリが入ってくる。

ヒカリ ……

りん あ、お邪魔しています。

ヒカリ どういうこと？

りん え

ヒカリ なにしてんたん？

りん 映画を、撮ってました？

ヒカリ 二人で？

りん はい。

ヒカリ え、それってさ、ポルノ映画？

りん ゾンビ映画って聞いてます。

ヒカリ 二人で？

りん 今日はメイキングを先に撮ろうって。

ヒカリ 好きなん？ 雄一のこと？

りん 別にそういうわけじゃ

ヒカリ え、りんちゃんは、好きじゃない男の人の家に一人で来るタイプ？

りん ……はあ。

ヒカリ ここは、ホテルちゃうしき。

りん わかっています！

ヒカリ どういうつもりーどういうおつもりー(しつこく聞く)

りん あの、じゃあ、絶対に雄一さんに言わないで欲しいんですけど。

ヒカリ うん

りん あんまり周りに言っていないんですけど・・・、うち、彼氏いるんです。

ヒカリ 雄一じゃなくて？

りん はい。だから、雄一さんとはなんにもないです。

ヒカリ そうか。

りん 雄一さんは？

ヒカリ 今、下で、冷蔵庫の裏に落ちた印鑑拾ってくれてる。

りん ああ・・・あの、帰ります。バイトあるんで。

ヒカリ そっか。うん。

りん 今の話ぜつたいに雄一さんに言わないでくださいね。

ヒカリ ああ、うん、せやな。

りん、去る。

雄一戻って来る。

雄一 姉ちゃん、俺の部屋や。

ヒカリ 印鑑とれた？

雄一 とれたよ。(返す)

ヒカリ りんちゃん帰ったよー。

雄一 知ってるよ、下で会った。

ヒカリ 雄一、絶対に言わんといしてほしいんやけどお

雄一 なに

ヒカリ 彼氏いるらしい。りんちゃん。

雄一 ・・・・知ってるよ。

ヒカリ ええ。

雄一 知ってるよ、そんなん。

ヒカリ ええ、でも雄一しらんみたいにゆうてたで。

雄一 あの子、誰にも言わんといてって、いろんな人にゆうてはんねん。

ヒカリ ああ、そうゆう子なんや。

雄一 出てって。

ヒカリ やめとき。

雄一 なにがよ

ヒカリ 好きなんやろ

雄一 好きちやうよ

ヒカリ ええ、好きやんかー

雄一 好きちやうよ。

ヒカリ あつそ。

雄一 出てつて。

雄一は、無理やり、ヒカリを追い出す。

雄一は、さきほどのりんの映像を再生し出す。

雄一は、りんの映像を繰り返し再生する。

その度に顔が綻びニヤつく雄一。

実可子が現れ、ニヤつく雄一の背後から、

実可子 このあとなんかされんや！ 絶対そうや！ お前やろ！ なあ！

□第四場／#4 カラオケ

と、大塚愛のさくらんぼのカラオケの後奏が流れる。

マイクを握っているりん。

盛り上がっている魚住。

魚住 いえいえいえいえい！

りん はずいはずいはずい。その盛り上げ方、めっちゃはずかしい。

魚住 うまい。

りん うまくないっすよ！

三木道三のLifetime Respectがのカラオケが流れる。

魚住 これテーマソング、俺の。

りん え？

魚住 俺のテーマソング。

魚住は歌い出す。

実可子 カラオケ上手い人はやめといたほうがいい。

りん　　なんで。
実可子　遊び人やから。
りん　　そんなことないよー。
実可子　ビリヤードうまいひとと、カラオケ上手い人は遊び人やからやめとき！
りん　　そんなことないって。たしかにビリヤードめちゃうまかつたけど。
実可子　ほらあ！
りん　　ていうか、遊び人でもええやん、別に。

熱唱している魚住。

りん　　だって、アカンと思つたら、わかれたらええやん。そんなもんやん。そういうこと
　　でいいやん。よくないの？そういうことじゃ。
実可子　別れるって、付き合う以上に大変や！
りん　　いけるよ！
実可子　付き合うなんかノリやけど、別れるんはノリじゃないねんって！
めぐみが現れ、りんに近づく。

□四場／#5 怒りの回想、めぐみ

場は、病院の食堂でバイト中の坂上りん。
そこへめぐみ入ってくる。

めぐみ　バイト中、ごめんな。坂上りん？
りん　　はい。
めぐみ　魚住たかしって知ってるな。
りん　　あ。はい。
めぐみ　あんたどういう関係。
りん　　もしかして、え、彼女さんですか。ああ、いつも魚住さんから聞いてますよー。
めぐみ　どういふ関係か聞いとんねん！
りん　　え、私、なんもないんですよ。みんなでご飯いたりしたことはありませんけど、二人で行ったりしたことはないですよ。
めぐみ　あそうなんや。あ、ごめん勘違いしてた。ごめんな、バイト中に。

場は、一気に魚住のアパート。

めぐみが魚住の元へ帰宅する。

めぐみ 今日、会ってきたわ。あんたがメールしてた坂上りんちゃん。会ってよかったわ
ー。

魚住 は？

めぐみ ええ子やな。全部話してくれてスッキリしたわ。（魚住の表情をみて）なに？ 全
部話してくれたけど。

魚住 ……ごめん！

めぐみ ん？

魚住 俺もあの時気失つてて、何もせんつもりやってんけど、気づいたら、押し倒しても
うてて。

しばし間。

めぐみ おお、自爆しよった。あの子、何もないって、言うてたけどお！

魚住 え？

めぐみ あの子、あんたのために嘘ついてくれたのにな。台無しやな

めぐみ、病院の食堂へと向かう。

魚住 何もない！ 何もない！

魚住は、焦って携帯でメールを打つ。

場は、一気に病院の食堂。

今度は店頭には、幸子がいる。

幸子の滑舌は相変わらず悪い。

めぐみ 坂上りんを出せ。

幸子 いません。

めぐみ 坂上りんを出せ。

幸子 いません。

めぐみ じゃあ次シフトいつか見てこい。

幸子 わかりました。

幸子は、病院の食堂アルバイトのバックヤードへ。

バックヤードに隠れているりん。

幸子 あんたの男のメールの通りやな。来はったわ。

りん 追いつ返してください。

幸子 ……わかった。

幸子、めぐみの元へ

幸子 バイト辞めたみたいで…。

めぐみ もう一回シフト、見てこい。

幸子 バイトを、

めぐみ 何言うてるかわからんから、もう一回見てこい言うてんねん。

幸子 ……わかりました。

幸子、再びバックヤードへ。

幸子 全然帰らへん。

りん 殺されるんで、追いつ返してください

幸子 いや、でも。

めぐみ、幸子を睨みつけながら、バックヤードに入ってくる。

幸子 ……さ、坂上です。

幸子は、店内へりんを引きづり出す。

めぐみ お前さ、自分がついた嘘わかってるよな？けじめだけつけさせてもらおか。うち先輩からこういうやり方しか教えてもらえへんかったから。

幸子 (二人の間に止めに入る) バイト中なんで！

めぐみ お前見届け人や。一発以上、殴らんようにみとけ。

幸子 武力行使は、なにも生み出しません。話し合いで解決出来ることだとおもうので、ぜひ話し合いで解決した方が、お互いのためやし、罪になるし、それに、こういうのは良くないです！

めぐみ お前な、何言ってるかわからんねん。

幸子 すみません！ 私口のメカニズムが悪くて。でも、りんちゃんがかわいそうやから！

りん ちよつと黙ってください。・・・一発殴られたら済む話なんで。

めぐみ ようわかってんな。齒くいしばれよ

幸子 ああー！！！！

めぐみは、りんを殴る。

りんは頬を押さえ、しやがみこむ。

魚住が食堂に到着する。

事態に気づき、

魚住 (めぐみに) お前なにしてんねん！ おら！

めぐみを店の外へ連れ出す魚住。

魚住 お前なんもせんゆうてたやろ。

めぐみ なんでなんあの子ばかり。

魚住 ・・・殴るんやったら俺殴ったらええやん。

めぐみ あんたうちの気持ちわかるん？

魚住 ・・・。

めぐみ うち、今どん底やで。

魚住 ・・・。

めぐみ そつからどうやって這い上がったらしい？

魚住 (顔を近づけキスしようとする。)

めぐみ やめて。

魚住 わからん。

めぐみ わからんよ、うちも。

魚住 ・・・もう別れたほうがいいって俺ら。

めぐみ あかん。お前、幸せになるからあかん。

魚住 ・・・ねちっこいねんてお前まじで。

めぐみ お前が一番しつてるやろ。

魚住 ・・・。

めぐみ 泥沼やぞ。

魚住 泥沼やな。

めぐみ どうする。

魚住 ……
めぐみ どうする！

魚住は、頭をかきむしり、声を荒げ、独楽のように回り始める。
めぐみ なにしとんねん。

魚住は、さらに勢いよく回転する。
目が回り、フラフラになって倒れる。

魚住 たしかに、ちよつとええかもな。これ。
めぐみ は。

魚住 お前も回れ。
めぐみ なにがよ。
魚住 嫌なこととか、世界歪む。
めぐみ 嫌やわ。

魚住 三半規管がまとまやから、しんどなるんやな、これ。
めぐみ アホなつたんちやう。
魚住 かもな。
めぐみ ほんまええつて。

魚住はまた独楽のようにくるくると回りはじめる。
その独楽のように回る回転に合わせ、
やがて、場に広がるそれぞれの回想が暴走し始め、
りんに向かって、言葉や怒声を浴びせ始める。

□四場／#6 同時多発

登場人物すべてから、全てを聞くことが不可能なくらいに、
りんに言葉や感情がぶつけられている。

雄一は、りんのインタビュー映像を繰り返し見ている。

ヒカリは、雄一を惑わしていることについて怒っている。

大江戸は、銭湯で転落事故があつて迷惑をしていることに対して怒っている。

幸子は、バイト先でのめぐみとの出来事について怒っている。

めぐみは、魚住との関係について怒っている。
魚住は、めぐみにバレたことについて怒っている。

それらが同時多発に入り乱れ、カオスとなった場を彷徨う、りん。
実可子もそのカオスとなつてぐちゃぐちゃになった場を彷徨っている。

りんは、全ての言葉を受け取りきれず、逃げ惑っている。
それぞれの人物たちは言葉や怒声を浴びせ、さらにりんを追い詰めていく。

実可子はりんを見失い、また見つけてを繰り返している。

実可子は、つまづき、転ぶ。

それでも這いずつても発狂しながらでも怒りの矛先を探し出そうとしている。

りんは、舞台上での行き場を失い、逃げきれず、追い込まれ、煙突を登り始める。

実可子は、それに気がつく。

実可子 (登っていきりん) なあ。なんで、そこ登るんのよ!

あんたが、悪いんちゃうん?

そうやって高いとこ登って。

・・・そうや、自分が悪いんやんか!

岩村が、実可子の背後に現れ囁く。

岩村 そうや。りんちゃんせいかもしれんああ。

実可子 うっさいねん!

岩村 ……その怒りが大切や。

実可子 黙れ!

実可子は、逃げるように駆け出す。

岩村は、追いかけるながら、

岩村 やっぱり理屈通りにしか人間はならん。今が、第二段階や。

実可子 うっさいって!

岩村 そうや。怒れ、怒れ、怒れ、

実可子 (泣きわめきつつ) うっさい！ うっさい！ うっさい！ うっさい！

いつの間にか、言葉や怒声を浴びせていた人物たちは消えている。

岩村が実可子を追いかけている。

やがて、場所は朝日湯にたどり着く。

□五場／#1 現在、大江戸

朝日湯。

ボイラー室。

実可子 うっさい、うっさい、うっさい、

岩村 そうや、それや、怒れ・・・。

大江戸が、岩村が実可子を追い込んでる姿を目撃し、止めに入る。

大江戸・・・お前な、ええ加減にしろ。

岩村 なにがつつすか

大江戸 お前ほんまたいがいにしとけよ。

岩村 「悲哀の過程」早よ乗り越えてもらおうと思つて

大江戸 誰が頼んだ。

岩村 でも早よ立ち直つた方がいいかなと思つて。

大江戸 泣いとるやないか。

岩村 第二段階なんで。

大江戸 バカかお前は。

岩村 いや、第二段階なんで。もうすぐで第三段階にはいるんで

大江戸 お前相手の立場になつてモノを考え

岩村 でも僕は、この方法で乗り越えましたからね。

大江戸 想像力ないんか、お前は。考えてやれや。

岩村 ありますし、考えてますし、

大江戸 自分がその立場になつたらわかるわ。

岩村 いえ、僕、もう、悲哀の過程4つとも完了してるんで。

大江戸 うるさい！もう、ほつといてくれ。

岩村・・・でもこのままほつといたら。

大江戸 誰が頼んだ、こんなこと。

岩村 時間の無駄やおもて。

大江戸 お前がそれを決めることじゃない！

岩村 ……。

大江戸 仕事せい仕事。

岩村 ……。

岩村は銭湯の方へと去る。

実可子は、泣きながら朝日湯を離れていく。

追いかける大江戸。

実可子は逃げるように走りだす。

大江戸がそれを追いかけるながら、

大江戸 大丈夫か？

大江戸に呼びかけられるが、実可子は速度を緩めない。

大江戸 どないしたんや、実可子。岩村になんかされたんか？

実可子 ……なんで煙突あるの？

大江戸 そら、銭湯やからや。

実可子 なんであんなに高いん？

大江戸 高さはしゃあないやろ。高くないと町中に煙があふれるやろ。

実可子 なんで人が登れるようになってるん？

大江戸 掃除せなあかん。鍵かかかっててんけど、りんちゃんが勝手に入ったんや。

実可子 なんで登れるようにしとくんよ。

大江戸 登る方が悪い。とりあえず、止まれ。

実可子 違うわ！登れるようにしといた方が悪い！だいたい煙突があるから悪いんやんか。

大江戸 ……。

実可子は速度を緩めず、

実可子 潰したらええ。

大江戸 ……。

実可子 もう、ええやん。煙突が無かったら良かったんや。煙突潰したらええ。

大江戸 銭湯閉めなあかんやん。

実可子 閉めたらええやん、もう、銭湯なんか。

大江戸 ……。

実可子 客もおらんし。潰せ潰せ、こんな銭湯潰してしまえ。

大江戸 ……。

実可子 潰せ！ 潰せ！ こんな銭湯！ 潰せ！

大江戸は、速度を緩める。

実可子、しばらくそれに気がつかず、「潰せ」と連呼している。

二人の距離が離れていく。

大江戸 ……潰したらええんやな。

実可子 ……うん。

大江戸 潰す潰す！ そこまで言うんやったら潰したらあ！

実可子は立ち止まる。

大江戸 銭湯も煙突も全部潰したるわ！ 更地や更地！ 更地にしたらあ！

実可子 ……。

大江戸 客も来おへんし。

実可子 ……。

大江戸 あんなことなつてもうてケチついたんや。疲れたわ。もう。

実可子 ……。

大江戸 そうしよ。潰そ潰そ。

実可子 ……。

大江戸 ありがとうな、言うてくれて。

大江戸は、朝日湯の方に向き直り、歩を進める。

大江戸 駐車場にしたろ。駐車場収入で暮らしたろ！

実可子 ……ちよつと待って、どこに、どこに住むんよ。

大江戸 アパート借りてアパートに住む。

実可子 今の生活は？

大江戸 銭湯閉めて駐車場収入で暮らしていこう。

大江戸の歩く速度はあがっていく。

大江戸 旅行も行きたかったんや。

実可子は、歩く速度があがっていく大江戸を追いかける。

大江戸 岩村も頼りないし、潰そう。

実可子 いや、違う……。そうじゃなくって……。

大江戸 お前、さっき言うたやないか、潰せって！

実可子 違うっていうてるやん。待って、待ってよ。

大江戸はだんだんと走り始める。

置いて行かれないように追いつこうと実可子も走り出す。

実可子 待って、って。待って！違う！そういうことが言いたかったんじゃない！

大江戸 (実可子の言葉は、耳には届かず) よおし！ 旅行いくぞー！

大江戸、はしゃいで朝日湯の方へ消えていく。

実可子は、立ち止まってしまう。

実可子 あかんあかん、そんなんちゃうねん……。ちやうねんて。

□五場／#2 タイへの道

航海中の船。

船内の客室のベットに座り、語りかける幸子。

幸子 (滑舌悪く) 船です。タイへ向かっています。雄一君のお姉ちゃんから、教えられ

た情報をもとにタイへ……。安くて手術できる病院を教えてくださいました。うちはどうなってしまうのかという不安と期待で胸がはちきれそうです。

船内のベットで眠りにつく幸子。

□五場／#3 雄一とヒカリ

銭湯近くの空き地。

ヒカりは、病院から逃げてくる。

雄一が追いかけてくる。

ヒカりは追いかけてどこでもしているかのように陽気に逃げている。
が、雄一はその姿に呆れて、

雄一 (呆れ) 勝手にせえ。

ヒカリ ん？雄一、なんて？雄一わかつたんや、やつぱり(煙突を指差し)あの煙が、原因なんや。あの煙突さえ閉じてしまえば、姉ちゃん、嘘みたいに気が晴れるはずやねん。

雄一 勝手にせえ！どこへでも行け！もう知るか！

ヒカリ なになにー？ 怖い顔してー。

雄一 なんやねん。毎日毎日。俺の時間どんだけ奪ったら気すむねん。おかげでシナリオも全然書かれへん。

ヒカリ ちよつと雄一、どうしたん？

雄一 姉ちゃんが前に言った通りやな。こんなところにおつても売れるはずない。おれ東京とかいって頑張るわ。姉ちゃんが病院から逃げようが、もう知らん。

ヒカリ 雄一……。

雄一 俺は勝手にする。姉ちゃんも勝手に病院から逃げたらええわ。

ヒカリ ……え。ちよつと待つてや、雄一！ 雄一！

雄一は、去る。

ヒカリ ……。

ヒカりは、うな垂れ地面に崩れる。

□五場／#3 めぐみと魚住2

めぐみのアパートの室内。

めぐみは、包丁を持って魚住の前に立っている。

めぐみ あの子、死んでよかつてん。死ぬべきやつてん。神様は、死ぬ人間選んどんねん。

今度は、あんたが死ぬべきかどうか試したるか。

めぐみは、包丁の刃先を魚住に向けて、魚住に近づいていく。止める魚住。魚住がめぐみを力強く押すと、めぐみは倒れる。

めぐみは起き上がり、魚住から離れる。

息が少し乱れている魚住。

めぐみが包丁の刃先を自らの腹に向ける。

魚住は、一瞬のことに状況が掴めず、動けない。

めぐみは自らの腹に包丁を刺す。

めぐみ どう思う？ うち、マガジンをな、お腹にいれてるけど、これ、どう思う？ こ

れ、どう思う？

魚住 ちょ、頭おかしいんか！

魚住は、めぐみが力を入れていく包丁を払う。

包丁が飛ぶ。

同時にめぐみは、転倒。

飛んだ包丁を取りに行こうとするめぐみ。

魚住は、包丁を壁際まで蹴り飛ばす。

息の荒れためぐみと魚住。

めぐみは、地面に転倒したままで。

魚住 ……。

めぐみ あんた、フェイスブックはじめたやろ。Instagramもさ、ツイッターもさ。

魚住 ……。

めぐみ やめたほうがいいで。

魚住 ……。

めぐみ こうなるから。

魚住 ……。

めぐみ ガラケーにしたほうがいいよ。

魚住 なに言うてんねん。

めぐみ お前と出会わんかったらよかったわ！

お前と出会わんかったらよかつたわ！
お前と出会わんかったらよかつたわ！
．．．うるさいうるさいうるさい！

魚住

少し間。

めぐみ どう思う？

魚住 なにが。

めぐみ どう思う？

魚住 出会わんかったらよかつたな。

めぐみ

．．．出会わんかったら、こんなならんかったのにな。．．．あんた、あの子、いなくなつてから、ずっとスマホでなんか変なゲームしてるやろ。狂つたみたいに。アホみたいに。アホにしたいんやろ。．．．わかるわあ。うちもアホみたいにメールとかしてもうてるもんなあ。アホやわ、ほんま。

震え頭を抱え、その場にしゃがみこむ魚住。

めぐみも、地面に転倒したままで。

□五場／#4 岩村

5場／#1から少し時間の経つた日。

朝日湯のボイラー室。

岩村がボイラーの中の炎を見つめている。

客席からは岩村の表情

を伺うことはできない。

実可子がボイラー室に入ってくる。

岩村は振り向かない。

沈黙。

しばらくして、

実可子 ．．．岩村さん。

岩村 ．．．。

実可子 大江戸さんが・・・、銭湯も煙突も潰すつて。

岩村 そつか。

実可子 私が悪いんですか？ どうしたら良いですか？

岩村 でも、大江戸さんが決めたんやったらなあ。

実可子 良いんですか？ 岩村さん、行くところなくなりますよ。

岩村 まあでも、大江戸さんが決めたんやったらなあ。

実可子 ・・・・私、次何したら良いんですか？ 次何の段階ですか？ 次はどういう感情になる

んですか？

岩村 それやけどな、何かもう、よく分からんようになったわ。

実可子 はあ？ なんで？

岩村 オカン死んでな。

間。

ボイラーの中からバチバチと薪が燃えていく音が聞こえる。

岩村は、服の袖でゴシゴシと目の当たりを擦り始める。

岩村 ・・・・悲哀の過程全部乗り越えたと思ってたんやけど、実際オカン死んだら、何か違

うかったかもなあって。

実可子 違うつてなんすか？ 私がやったこと意味なかったつてことですか？

岩村 意味ないわけじゃないよ。

実可子 りんちゃんに電話するとか、エルボーとか、全部意味なかったんすか？

岩村 意味ないわけじゃないつて。それはちゃんと理論として確立されてるもんなんやか

ら。ただ、それが全部じゃないんかもなつて。

実可子 何なんそれ？ うちは、あんたの言うこと聴いて全部やった！

岩村 そやな。

実可子 結果、違つたつてなんなん？

岩村 そやな。

実可子 お前のせいやろ！

岩村 ・・・・お前な、自分だけが悲しんでると思ってるやろ？

実可子 ・・・・

岩村 お前だけちゃうねん、悲しんでんの。

実可子 わかつてるよ。でも、うちは、まだわからんの。

岩村 みんな悲しんでるよ。りんちゃんを思いだす方法は人それぞれかもしれんけど、みんな

悲しんでるよ。

実可子 そんなことない！

岩村 みんな大人やからな。悲しんでも表では、笑ってはる。

実可子 じゃあ、私がやったことは何やったんすか。あの苦しかった時間は何やったんすか。

岩村 みんな、それをやってはる。みんな、自分の中で、それをやってはるんや。

実可子 ……岩村さんは？

岩村 俺のことはええ。

実可子 岩村さんは、やらへんの？

岩村 ほつといってくれ。

実可子 早めたら良いじゃないですか。お母さんとのこと、回想しましょう。いまどの段階で

すか？抑鬱ですか？

岩村 ええつて。

実可子 早めたら乗り越えられるんでしょ?!…なんやねん、お前乗り越えてないんやん

け。

岩村 お前も乗り越えてへんやろ！ どんだけ経ってんねん！

実可子 ……あー!!

実可子は、感情が崩壊して、つい叫んでしまう。

岩村は、またゴシゴシと目の当たりを服の袖で擦り始める。

実可子は、独楽のように回り始める。

どんどんと回転の勢いが増していく。

やがて目が回り転倒してしまう実可子。

実可子 (少し笑って) あー、気持ちいい。

岩村 何してんねん？

実可子 岩村さんも、回りますよ。

岩村 ええよ。

実可子 回ったら色々忘れられるんで。

岩村 いいつて。

実可子 いいから、ホラ。

服の袖でゴシゴシと目を擦る岩村を実可子は回そうとする。

岩村 ええつて、ええつて！

実可子 もつともつと、もつと回つて。回ったら今考えてることが分からなくなってくるんですよ。

岩村　　もうええって！

岩村は、転倒し、地面に倒れ込んでしまう。

それを見ている実可子。

沈黙が流れる。

時刻は、夕暮れに差し掛かる頃。

□五場／#6 手術台の上

幸子は、船内のベットから、タイの病院の手術台の上にいる。

幸子　　（滑舌悪く）うちは、手術を今からうけます。これからどうなるのか……。手術

後、一年は、喋ってはいけないそうです。……。うちの人生がどのように変わるのか……。すべてが変わるのか、それとも、なにも変わらないのか。……。わかりませんが、希望があるから。うちは、がんばります。

手術台に仰向けに寝そべる幸子。

□五場／#7 墓

墓に朝日湯を閉めることを告げに来た大江戸。

暮石に水をかけ、拝む大江戸。

大江戸　　おとん、おかん。おじいちゃん、おばあちゃん。ごめんな。朝日湯、閉めることに
した。

夕暮れから夜に向かって日が暮れていく。

大江戸　　すまん。俺の代で潰してしもて。許してくれ。ごめんな。ほんまにごめん。俺、
情けないわ。ほんまに情けないわ……。

涙が溢れ、地面の方に顔を伏せる大江戸。

それぞれの人物たちが、地面に突っ伏している状態に闇が落ちる。

実可子だけが、立っている。

□五場／#8 実可子、一人になる。

実可子、煙突の上を見上げる。

そこには、口笛を吹くりんちゃんがいる。

実可子は、引き寄せられるように煙突に近づく。

すっかり辺りは闇に包まれている。

しばしの間ののち、実可子は、梯子に足をかける。

一段一段、登っていく。

辺りは静まり、実可子の息遣いが聴こえてくる。

どんとんと煙突のてっぺんの口笛を吹くりんに近づいていく。

やがて実可子は、煙突のてっぺんへとたどり着く。

遠くの景色を眺める実可子。

実可子は、煙突の下を見下ろす。

身をゆつくりと乗り出していく。

それは、身投げでもするかのように。

じわじわと乗り出していく。

となりでは、りんちゃんが口笛を吹いている。

次第に辺りも溶暗していく。

死の予感さえも感じさせるかのように。

声 実可子ちゃん？

突然、そこに飛び込んでくる声。

辺りにパチパチと街灯がつき始める。
実可子が声の方向へと目をこらすと、
街灯に照らされた煙突下に立つヒカリ。

ヒカリ　実可子ちゃん？　実可子ちゃん？　聞こえる？　なにしてんの？

実可子　・・・。

ヒカリ　・・・あのさ。

実可子　・・・。

ヒカリ　せっかく登ったんやし、煙突閉じてくれへん？　ここにダンボールが、あるし！

ヒカリは、大きなダンボールを持っている。

ヒカリ　煙突を閉じれば元気になる気がするんねん！　行くで！　せえの！

と、煙突の上に向かってダンボールを投げるヒカリ。
が、風の抵抗で、すぐに地面に落ちる。

ヒカリ　あかんなー！　あんな、煙突から出る灰で、この街、おかしなとねん！

と、再び実可子に向けてダンボール投げるも、風の抵抗ですぐに落ちる。

ヒカリ　あかんなあー！もう一回、行くで！

と、再びダンボール投げるも、風の抵抗ですぐに落ちる。
何度か繰り返す。

取りに行つては、投げ、取りに行つては投げてを繰り返す。

ヒカリ　アカンなあー。これ、こうしたら、届く？　届く？

ヒカリは、梯子を数段登り、段ボールを差し出す。

実可子、受け取ろうと煙突のてっぺんから、手を伸ばす。

ヒカリ　（段ボールを精一杯掲げつつ）姉ちゃん、その煙突閉じたら、元気になるねん・・・！

実可子も手を伸ばす。

段ボールに実可子の手が近づいた時、ヒカリは、段ボールを引き下げ、

ヒカリ ア。

実可子 はい。

ヒカリ ・・・絶対、落ちたらあかんで。

実可子 ・・・。

ヒカリ わかった？ オツケ？

実可子 ・・・はい。

ヒカリ じゃあ、頼む！

と、ヒカリは更に、段ボールを上へと伸ばす。

実可子も出来る限り煙突の上から手を伸ばす。

実可子が、段ボールを受け取る。

実可子は受け取った段ボールで煙突の穴を塞ぐ。

ヒカリ うおおお！行けた？行けた？ ああ。ありがとう！

実可子 ・・・。

ヒカリ ・・・お、お、体軽くなってきた体軽くなってきた！ 不思議。

と、ヒカリは、謎の回復をみせ、ピョンピョン飛び跳ね、走りだす。

そこへ、雄一が現れる。

雄一 ・・・。

ヒカリ おお、雄一。

雄一 やっぱ病院戻る。

ヒカリ なんや、戻ってきてくれたん？

雄一 ちやうよ。一旦、病院に連れてってからや。

ヒカリ なあ！みて、元気になった。煙突閉じて元気になった。

雄一 は？

ヒカリ うちわかってん。うちの中で通ってる理屈は、ゆずれへんねん。それだけや。病は
気からとはようゆうたもんや！ハハハハ！

雄一 ・・・。

と、あきれ顔の雄一は、煙突の上を見上げる。
するとそこには、実可子がいる。

雄一は、突然、大きな声で、

雄一　あかん！ 危ないから、登ったらあかんて！ 危ないから！ いいから、降りとい
で！ 降りといで！

ヒカリ　あんた声おつきい……。

雄一　もう勘弁してくれよ……やめてくれよ！

ふさぎ込むようにしやがみこむ雄一。

ヒカリは、そこら中を走っている。

実可子は、そんな二人を見下ろし、隣に座るりと目を合わせた後、

実可子　……いつかまたここ登れたらええなあと思ってたんです。ここから見た景色綺麗
ですね。……この町も。

雄一　いいから！降りといで！もうやめてくれ！

実可子は煙突の梯子をそろそろと降りてくる。

心配そうに見つめる雄一。

□五場／#9　めぐみと魚住3

めぐみのアパート。

倒れたままだっためぐみ。

ゆつくりと、起き上がる。

めぐみ　もうほんまうちらずつとうまくいかんかったな。

魚住　……。

めぐみ　いいよ。なんか。疲れた。

魚住　……。

めぐみ　なんか、疲れたし。いいよ。もうなんか。疲れたし。

魚住　俺も疲れた。

めぐみ　……お疲れ様でした。

魚住　……。

めぐみ　今日から、あなたは元彼なので、ここから歩いて帰ってください。

魚住 ……
めぐみ どうぞ。

魚住は、そう言われ、一旦は出口へ向かうが、
めぐみの方へ戻ってきて、めぐみの唇に唇を近づける。

めぐみ (抵抗して) ちょ。なにしてんの。いらんて。

魚住 ラストキス。

めぐみ ……ずっと言おうと思ってたけど、ラーメンくさいねん、あんた。気をつけたほ
うがいいで。

魚住 マジで。うそ。

めぐみ ……。

魚住 ごめん。それじゃ。

魚住は出口へ向かう。

めぐみ ラーメン屋オープンしたら行くし。

魚住は、めぐみの元を去る。

□五場／#10 ヒカリと雄一2

#8の続き。

梯子を全て降り切った実可子。

走り回っているヒカリ。

ヒカリ 雄一。これで姉ちゃんの戦いがひとつ幕を閉じた。よし。病院もどるわー。ご覧の
通り、姉ちゃん、胸のつつかえがひとつ取れて、元気になったし。

雄一 ……。

ヒカリ 雄一は、もうなんも気にせんと、シナリオが書け！

雄一 ……。

ヒカリ すまんかったな。ほら、雄一は東京行け。東京で注目されて来い！ 姉ちゃん、応
援してるし！

雄一 ……。

ヒカリ フレックフレ雄一！ 頑張れ頑張れ雄一！ この町はうちに任せとけー！

ヒカリは、そういうと走り去ってしまふ。

雄一　　・・・。

雄一もヒカリの後を追うように去る。

残った実可子。

□五場／＼#11 あの日もらった手紙をひらく実可子

実可子は、ポケットに手を入れる。

手紙が出てくる。

生前、りんにもらった手紙だ。

実可子は、一息ついて、その手紙を開く。

煙突の上のりんが読む。

ダイア―実可子

さて、実可子、いかがお過ごしですか。

今日は、

「実可子がうちを超えることができない10のこと」を考えたので書きます。

実可子は、私の点数を超えることはできません。

実可子は、私の身長を超えることができません。

実可子は、私の体重を超えることができません。

実可子は、私の男性遍歴を超えることができません。

実可子は、私に勝つことがありません。

以上。

実可子のが大好き好きすぎるので、

今度は、実可子のが、どんだけ好きか、書きます。

実可子のが、たくましいところが好き。

実可子のが、男らしいところが好き。

実可子の、くじけないところが好き。

実可子の、負けないところが好き。

実可子の、落ち込まないところが好き。

実可子の、明るい性格が好き。

実可子の、笑顔がすき。

まあ、そんなところでしょうか。

明日は、実可子の直した方が

いいところをかんがえます。

フローム

さかがみりん

手紙を読み終えた実可子は、ボイラー室へと向かう。

地面に倒れたままの岩村を起こす。

□五場／#12 実可子と岩村

岩村は、目のあたりを服の袖でゴシゴシと擦っている。

実可子は、間を溜め、岩村にエルボーアタックをする。

岩村は、ビクともしない。

実可子は、繰り返す。

間を溜め、何度も岩村に教えてもらったエルボーで攻撃する。

何度も何度もエルボーをされていた岩村が、

思いつきり実可子にエルボーをし返す。

実可子　　いつてー！　本気でやることないやんか！

岩村は、また目をゴシゴシと擦っている。

実可子　　仕返しや！

実可子は、起き上がり思いつきり岩村にエルボー。

岩村が倒れる。

実可子 立てや！立て。ほら、立てって！

何、寝転んでんねん！戦いは、終わってへんぞ！立て！

岩村 うるさい！

実可子 ……。

岩村 人の気持ち考えろ！俺が、今、どういう状況かとか、今、俺が、どうしてほしいとか、

そういうの考えろや！人の気持ち考えろや！

実可子 ……。

岩村に近づく実可子。

実可子は、強引に岩村を起こす。

岩村 なんやねん！

と、実可子は、岩村を抱きしめた。

啞然とする岩村。

しばしの間。

岩村の胸の中で、実可子のすすり泣く声が聴こえてくる。
力の抜ける岩村。

次第に、溶暗していく。

岩村も実可子の方にすがり、
岩村のすすり泣く声が聞こえたような。

完全な闇。
音楽。

□エピソード／#1 煙突がない

五場から、一年後。

幸子が語りかける。

幸子 あれから一年。うちはタイでの手術を終え、あちらの病院でリハビリなど療養したのち、ようやくこの町へと帰って来ました。駅を降りて、しばらくこの街を歩き回りましたが……、

幸子は、町を歩き回る。

幸子 いやー。なんにも変わってないなあ……。

幸子は煙突を見上げる。

しかし、そこに煙突はない。

幸子 アー煙突。煙突ないじゃないですかー！ええ！嘘。

朝日湯に駆けて行く幸子。

朝日湯に入るなり、

幸子 煙突ないじゃないですかー！

大江戸 おお！久しぶりやな。

幸子 久しぶりとかええんですよ！

大江戸 そうやねん。改装してん。

幸子 改装って……。

大江戸 ボイラーもな、ドイツの最新式に変えたんや。おかげで煙も出なくなつて、煙突もいらなくなつたんや。

幸子 潰れたんか思つて焦りましたよ。

大江戸 やめようと思つてた時期もあつたけどな、もう少し頑張らして。

幸子 よかつたつすよー、ほんま。

大江戸 でも、幸子ちゃんも全然変わらんね。何年ぶりや？

幸子 一年くらいちよつとこの町離れてて。おっちゃんも全然変わってないつすね。

大江戸 それは褒め言葉として受け止めとくわ。

幸子 この町もほとんど変わってへんみたいやし、なんか安心しましたわ。

大江戸　でも、いろいろ風の噂では聴くで。聞きたい？　この一年くらいの激動を。
幸子　激動つすか？

□エピソード／#2　めぐみと魚住

町中。

魚住が歩いていると、お腹の大きなめぐみを見つける。
スーパールの袋を抱えて歩いてくる。

魚住　おお。

めぐみ　え？ああ。

魚住　久しぶり。

めぐみ　うん。お元気ですか。

魚住　まあ。

めぐみ　こんなところで会うなんてな。

魚住　（お腹を指差して）？

めぐみ　うん。

魚住　そっか。

めぐみ　まあ。

少し間。

魚住　送つたろか？

めぐみ　え？

魚住　車で。あっち車、停めてるし。

めぐみ　おお。ありがたい。

魚住　うん。こっち。

と、二人は車の方へと向かう。

□エピソード／#3　大江戸と幸子

大江戸は朝日湯の中を案内している。

大江戸　あの刺青のにいちちゃんは今ラーメン屋やってるらしいわー。

幸子 人は変わるもんすねー。

大江戸 ここ女風呂。

幸子 あ、すごい綺麗になりましたね。

大江戸 あ、あの、絵誰描いたかわかる？

幸子 え、誰ですか？

大江戸 あそこみてみ下に「HIKARI」って描いたあるのわかる？

幸子 え、もしかして、雄一君とこの？

大江戸 そうそう。あのお姉ちゃんが描いてくれたんや。意外な才能やわー。

幸子 あっこの姉弟って今なにしているんすか？

□エピソード／#4 雄一とヒカリその後

町中。

ゾンビメイクのヒカリが現れ、脱ごうとしている。

雄一も追いかけて現れ、それを止める。

雄一 ちょちょちょ。何脱ごうとしてんの。

ヒカリ え、なにが。映画とるんやろ。

雄一 ゾンビ映画や。

ヒカリ ピンク映画ちゃうんか。

雄一 なんで兄弟でピンク映画撮らなあかんねん。

ヒカリ 水着きてきたのにー。

雄一 ええから練習した通りやって。ゲリラやし。このあともロケ場所押さえてるし。

ヒカリ デビュー作やし、かわいく頼むで。

雄一 やるで。スタンバイして。

ヒカリは、寝転がる。

雄一 はい、よーい、アクション！

ヒカリ (ゾンビになってカメラの方へと襲いかかる。) ああああああ。

雄一 ああ、いいねいいね。そつから、這い上がってこようか。練習の成果出てるよー！

ヒカリ (ゾンビを演じつつ) 雄一、東京、いかへんのかー！

雄一 ちょカットカット。ゾンビ、喋らんといて。

ヒカリ (ゾンビで) 東京ー！

雄一 だから、俺は、ロカルノとかサングダンスとか海外の映画祭に出して、逆輸入で売れるパターン狙ってるから。

ヒカリ

(ゾンビで) よし、ねえちゃんもがんばる。

雄一

じゃあ、もう一回、街を彷徨う姉ちゃん、行こか。

ヒカリ

おっけ。

雄一

はいつながら大事にして。・・・よい、アクション！

□エピソード／#5 大江戸と幸子

大江戸

最近、二人で新作撮ってるらしいわ。

幸子

ゾンビ映画っすか？

大江戸

ゾンビ映画は、ファンがいつぱいおるらしいわ。

幸子

なんか変わってないようで、変わってもうなあ、みんな。岩村さんと実可子ちゃん

は？

大江戸

ああ。あの二人・・・。

幸子

はい。

大江戸

別れました。

幸子

へえ。・・・え？付き合ってたんですか？

大江戸

そうそう。ア、知らなかった？ そうか。銭湯たたむいうてた時おらんかったもん

あ。

幸子

はい。

大江戸

お互いの傷を舐め合うように付き合いだしたんやけど。やっぱりあかんかったみたいやわ。

幸子

ようあるやつですね。

大江戸

一年で付き合ってた別れてって忙しいやつらやで。

□エピソード／#6 実可子と岩村

公園。

神妙な面持ちでベンチに腰掛けている岩村と実可子。

岩村

はよ、俺んちにある荷物持って帰れや。

実可子

わかってるし。あー！別れんのめんどくさい

岩村

付き合わんかったらよかったな。

実可子

ちっちゃいな、お前。

岩村 お前よりマシじゃ。

実可子 あーもう、別れんのめんどいわー！

実可子は独楽のように回りだす。

岩村 それ、外でやめろ。

実可子岩村の方へと転倒する。

岩村 危ないやろ。

岩村、実可子にキス。

実可子 もう、わからんくなるー。

岩村 ラストキスや。

実可子 もう、わからんくなるからー！

岩村は、もう一度、キス。

実可子 ラストって全然ラストちやうやんかー。もー！

岩村 ええから、荷物もってけよ。バイト行くし。

実可子 もー、わからんくなつちやつたやんかー。

岩村 出るとき、鍵ポスト入れといてな。

実可子 もー。

岩村、朝日湯の方へと向かう。

実可子 別れたくないー、別れたくないー、別れたくないー。

□エピソード／#7 大江戸と幸子

幸子 それって別れてないですよね？

大江戸 そやねん。ダラダラ付き合っっていくんちやう？

幸子 あー。

大江戸 じゃあ、次は、男湯です。

幸子 あんまごつちはかわつてないつすね。

大江戸 まあ、まあ中に入ってみ。

幸子 へー

大江戸 河童がな

□エピソード／#8 銭湯の前

実可子、銭湯の前にやってくる。

昼下がり。

実可子が銭湯を見上げる。

そこには、煙突があり、りんが座っている。

実可子は、りんに話しかける。

実可子 ……りんちゃん、今日、天気ええなあ。

りんは微笑む。

りんに向かって、ピースする実可子。

ピースし返す、りん。

笑う実可子。

グーにするりん。

すかさず、パーにする実可子。

チョコキにするりん。

と、ジャンケンになっていく。

銭湯の前へ、幸子と大江戸がやってくる。

幸子 外観は全然変わんないつすよねえ。

大江戸 地味に手は入れてんねんで。

幸子 (実可子に気がつき) ああ、実可子ちゃん。

実可子 どうも。

幸子 元気してたー？

実可子 はい。幸子さんもお元気そうで。

大江戸 なにしとるんや、こんなところで。

実可子 今日アレあるから。

大江戸 ああ、アレか。雄一くんの。

幸子 ??

大江戸 もうそんな時間か。

そこへ雄一入って来る。

雄一 ああ、すいません、前の現場おしてて。今日はお世話になります。実可子ちゃん、おまたせ。

大江戸 ちょうどよかったわ。自由に使って。

幸子 ご無沙汰しております。

雄一 ああ！幸子ちゃん。

大江戸 『銭湯ゾンビ』

雄一 やめてください、タイトルまだ仮なんですからー。はいじゃあ行きますよー。……まわりました。……よいい、アクション！

実可子は、ゾンビを演じカメラへと向かって行く。

ヒカりは、実可子の演技に、

ヒカリ なんでそんなにうまいん？

実可子 ああ。練習したことあつて。

ヒカリ へえー。いつ？

実可子 りんちゃんと一緒に。

押し黙ってしまう一同。

少しの間の後、実可子は明るく、

実可子 何、暗い顔してんすか！ 葬式ちゃうんですから！ 次行きましょう！次！

雄一 あ、うん。

実可子 行きますよ、お願いしまーす

幸子 (大江戸に) 前の時が嘘みたいですね。

大江戸 うん。

雄一 よーい。アクション！

実可子とヒカリ (ゾンビを演じて) うあーうあー

雄一 そう。這い上がって、這い上がって……。

□エピソード／#9 手紙

ゾンビ映画の収録の背景で、
りんが手紙を読む。

ディアー 実可子

今日は、実可子に直して欲しい10のことを書きます。

実可子は、

7の段を言えないところを直したほうがいいと思います。

実可子は、

うち以外の友達を作ろうとしないところを直したほうがいいと思います。

実可子は、

遅刻しても笑ってごまかすのは直したほうがいいと思います。

実可子は、

悪口いわれてるのに笑ってるところを直したほうがいいです。

実可子は、

太っても笑ってごまかすのを直したほうがいいです。

実可子は、

寝不足なのに笑ってごまかすのを直したほうがいいです。

実可子は、

しんどくてもつらくてもたなおれなくても、
笑ってごまかすのを直したほうがいいです。

でも、

実可子の笑顔がかわいいのは、いいとおもいます。

なぜ、私がこんなにアドバイスをするかというと、
実可子と一緒にの大学に行けたらいいなあと思っています。
だから、ここから自分をごまかす人生を控えめに、
たくさん自分と向き合っただけで勉強してください。

ま、別々の大学にいつでもズツ友で。
実可子といると楽しい。ほんまに。

この手紙を読んだら、必ず返事をください。

フローム

おせっかいやきの坂上りでした。

追伸

明日、あると思うな、その命。

・・・あと、親と金。

最近気付きました。人間、たくましが大切ですね。

でわでわ！

□エピソード／#10 岩村と幸子

岩村が、掃除道具を持って銭湯から出てきて、ゾンビ映画に気がつき、

岩村　これ、なにしてんすか？

幸子　映画撮ってるみたいです。

岩村　映画つすかあ。へー・・・（幸子に）あ、滑舌ようになりましたね。

幸子　！！

岩村は、ボイラー室へと去って行く。

幸子は、感極まり顔が崩れ泣き出す。

映画撮影中なので、声を押し殺して泣いている。

しかし、誰もそれに気がついてはいない。

雄一 アクション！さあ、こい、こい、這い上がってこい！這い上がれ！這い上が

れ………這い上がれええ！

幸子 (思わず) はい！

一同 ……？

幸子 (謝るように) どうぞ、続けてください。

ゾンビ映画の続きを撮影している実可子たち。

煙突の上のりんがあくびをする。

音楽。

幕。

●上演記録

夕暮れ社 弱男ユニット演劇本公演

「ハイアガール」 作・演出 村上慎太郎

〈日時〉

2016年1月20日(水)～24日(日)

1月20日(水) 19:00

1月21日(木) 19:00

1月22日(金) 14:00 / 19:00

1月23日(土) 14:00 / 19:00

1月24日(日) 13:00 / 16:30

〈会場〉 京都芸術センター 講堂

〈出演〉

伊勢村圭太 稲森明日香 向井咲絵 南志保 (以上、夕暮れ社 弱男ユニット)

穂月萌 小坂浩之 高阪勝之 (男肉 du soleil/kit)

中西柚貴 (悪い芝居) 丸山交通公園 (丸山交通公園ワンマンショー)

舞台監督 / 浜村修司 (GEKKEN staffroom) 音響 / 森永キョロ 照明 / 斎藤浩一郎

衣装 / 若松綾音 演出助手 / 小林欣也 宣伝美術 / 孝学直 イラスト / 朝陽昇

WEB / Q本かよ 協力 / シバイエンジン

共催 / 京都芸術センター 主催 / 夕暮れ社 弱男ユニット

◆無断転写禁止

◆上演の際は次のメールアドレスにご連絡ください。

yowaotoko_uni@yahoo.co.jp